



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和5年度

駅館川農地整備事業

平山工区区画整理（その2）工事

積 算 書

（当初）

九州農政局
駅館川農地整備事業所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

事業名		駅館川農地整備事業			工事別費 (2 / 3)	
工事名	平山工区區画整理 (その2) 工事					
工事別工事名:平山工区區画整理 (その2) 工事						
項 目 名		数 量	単 位	金 額	備 考	
工事価格				81,120,000		
・工事原価				68,783,000		
純工事費				52,414,000		
・直接工事費				43,077,000		
・・・直接工事費 (仮設工を除く)		1.000	式	43,077,000		
・・・直接工事費 (仮設工)		1.000	式	0		
・間接工事費				25,706,000		
・・・共通仮設費				9,337,000		
・・・事業損失防止施設費		1.000	式	0		
・・・運搬費～営繕費等						
43,077,000×((10.520*1.100)*1.000*1.040*1.000)				5,182,000		
・・・運搬費		1.000	式	1,894,000		
・・・準備費		1.000	式	363,000		
・・・安全費		1.000	式	0		
・・・役務費		1.000	式	0		
・・・技術管理費		1.000	式	1,546,000		
・・・営繕費等		1.000	式	0		
・・・現場環境改善費				352,000		
・・・現場環境改善費 (率計上)						
43,017,000×(0.820)				352,000		
・・・現場環境改善費 (積上)		1.000	式	0		
・・・現場管理費				16,369,000		
・・・現場管理費 (率計上)						
52,414,000×((28.650*1.000)*1.000*1.090*1.000+0.000+0.000-0.000)				16,369,000		
・・・現場管理費 (積上)		1.000	式	0		
・・・現場管理費 (一般管理費率対象外)		1.000	式	0		
・・・工期延長等に伴う現場維持等の費用		1.000	式	0		
・官貸額 (直工)		1.000	式	0		
・官貸額 (事業損失防止)		1.000	式	0		
・官貸額 (直工・事業損失防止除く)		1.000	式	0		
・一般管理費等						
68,783,000×(17.910*1.000+0.04)				12,346,000		
・一括計上価格		1.000	式	0		
支給品費				0		
支給品費 (直工・事業損失防止)				0		
支給品費 (直工)				0		
処分費等 (直接工事費の内数)				60,000		
処分費 (準備費の内数)				0		
処分費 (事業損失防止施設費内数)				0		
処分費等 (率対象外)				0		

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九州農政局

事業名	駅館川農地整備事業				
工事名	平山工区区画整理 (その2) 工事				
工事別工事名: 平山工区区画整理 (その2) 工事					
名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)				43,077,000	
・ 基盤工					
・ ・ 造成土工	1.000	式		37,310,000	
	1.000	式		22,621,000	
000001 基盤造成 土砂 BH掘削押土 (60mまで)	24,900	m3	328	8,167,200	歩A・単A B単 1号
000002 基盤造成 土砂 BH掘削【ICT】+不整地運搬 (60m超え80m以下)	2,630	m3	707	1,859,410	歩A・単A B単 2号
000003 基盤造成 土砂 BH掘削+不整地運搬 (60m超え80m以下)	2,630	m3	616	1,620,080	歩A・単A B単 3号
000004 基盤造成 土砂 BH掘削【ICT】+不整地運搬 (80m超え180m以下)	5,000	m3	818	4,090,000	歩A・単A B単 4号
000005 基盤造成 土砂 BH掘削+不整地運搬 (80m超え180m以下)	5,000	m3	727	3,635,000	歩A・単A B単 5号
000006 盛土法面転圧 粘性土【ICT】	11,800	m3	252	2,973,600	歩A・単A B単 6号
000007 基盤整地 (畑地部) 粘性土、2回掛け	1.39	ha	198,233	275,544	歩A・単A B単 7号
合 計				22,620,834	
・ ・ 整形仕上げ工	1.000	式		14,689,000	
000008 法面整形 (切土部) 粘性土【ICT】	13,330	m ²	880	11,730,400	歩A・単A B単 8号
000009 法面整形 (盛土部) 粘性土【ICT】	5,330	m ²	555	2,958,150	歩A・単A B単 9号
合 計				14,688,550	
・ 構造物撤去工	1.000	式		708,000	
・ ・ 既設管撤去工 硬質ポリ塩化ビニル管	1.000	式		708,000	
000010 既設管撤去 硬質ポリ塩化ビニル管 φ50以下	1,670	m	388	647,960	歩A・単A B単 10号
000011 既設管運搬 廃プラスチック類	1	台	12,000	12,000	歩A・単A B単 11号
000012 既設管処理 廃プラスチック類	0.8	ton	60,000	48,000	歩A・単A B単 12号
合 計				707,960	
・ 道路工	1.000	式		1,099,000	
・ ・ 支線道路B As舗装部	1.000	式		989,000	
000013 下層路盤 再生クラッシュラン (RC-40) t=14cm	1,370	m ²	722	989,140	歩A・単A B単 13号
合 計				989,140	
・ ・ 耕作道路 As舗装部	1.000	式		108,000	
000014 下層路盤 再生クラッシュラン (RC-40) t=14cm	150	m ²	722	108,300	歩A・単A B単 14号
合 計				108,300	
・ ・ 進入路工	1.000	式		2,000	
000015 ほ場進入路 進入路4、L=1.5m (上り)	1	箇所	564	564	歩A・単A B単 15号
000016 ほ場進入路 進入路5、L=1.5m (上り)	1	箇所	564	564	歩A・単A B単 16号
000017 ほ場進入路 進入路6、L=1.5m (下り)	1	箇所	649	649	歩A・単A B単 17号
000018 ほ場進入路 進入路7、L=1.5m (下り)	1	箇所	649	649	歩A・単A B単 18号
合 計				2,426	
・ 排水路工 S-13	1.000	式		2,635,000	
・ ・ 排水路工	1.000	式		2,635,000	
000019 排水路 (畑地部) BF-400	53.2	m	14,856	790,339	歩A・単A B単 19号

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名 駅館川農地整備事業

工事名 平山工区区画整理（その2）工事

工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** B単－ 1号 ***					
000001	基盤造成					
	土砂 BH掘削押土（60mまで）		m3	328		歩A・単A
	*** B単－ 2号 ***					
000002	基盤造成					
	土砂 BH掘削【ICT】＋不整地運搬（60m超え80m以下）		m3	707		歩A・単A
	*** B単－ 3号 ***					
000003	基盤造成					
	土砂 BH掘削＋不整地運搬（60m超え80m以下）		m3	616		歩A・単A
	*** B単－ 4号 ***					
000004	基盤造成					
	土砂 BH掘削【ICT】＋不整地運搬（80m超え180m以下）		m3	818		歩A・単A
	*** B単－ 5号 ***					
000005	基盤造成					
	土砂 BH掘削＋不整地運搬（80m超え180m以下）		m3	727		歩A・単A
	*** B単－ 6号 ***					
000006	盛土法面転圧					
	粘性土【ICT】		m3	252		歩A・単A
	*** B単－ 7号 ***					
000007	基盤整地（畑地部）					
	粘性土、2回掛け		ha	198,233		歩A・単A
	*** B単－ 8号 ***					
000008	法面整形（切土部）					
	粘性土【ICT】		m ²	880		歩A・単A
	*** B単－ 9号 ***					
000009	法面整形（盛土部）					
	粘性土【ICT】		m ²	555		歩A・単A
	*** B単－ 10号 ***					
000010	既設管撤去					
	硬質ポリ塩化ビニル管 φ50以下		m	388		歩A・単A
	*** B単－ 11号 ***					
000011	既設管運搬					
	廃プラスチック類		台	12,000		歩A・単A
	*** B単－ 12号 ***					
000012	既設管処理					
	廃プラスチック類		ton	60,000		歩A・単A
	*** B単－ 13号 ***					
000013	下層路盤					
	再生クラッシュラン（RC-40） t=14cm		m ²	722		歩A・単A
	*** B単－ 14号 ***					
000014	下層路盤					
	再生クラッシュラン（RC-40） t=14cm		m ²	722		歩A・単A
	*** B単－ 15号 ***					
000015	ほ場進入路					
	進入路4、L=1.5m（上り）		箇所	564		歩A・単A
	*** B単－ 16号 ***					
000016	ほ場進入路					
	進入路5、L=1.5m（上り）		箇所	564		歩A・単A
	*** B単－ 17号 ***					
000017	ほ場進入路					
	進入路6、L=1.5m（下り）		箇所	649		歩A・単A
	*** B単－ 18号 ***					
000018	ほ場進入路					
	進入路7、L=1.5m（下り）		箇所	649		歩A・単A
	*** B単－ 19号 ***					
000019	排水路（畑地部）					
	BF-400		m	14,856		歩A・単A
	*** B単－ 20号 ***					
000020	排水路（道路部）					
	BF-400		m	14,247		歩A・単A
	*** B単－ 21号 ***					
000021	急流工					
	BF-400		m	18,318		歩A・単A
	*** B単－ 22号 ***					
000022	跳水防止板					

[illegible]

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 平山工区区画整理 (その2) 工事						
工事別工事名: 平山工区区画整理 (その2) 工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** B単- 1号 ***						
000001	基盤造成 土砂 BH掘削押土 (60mまで)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SA0101	SP 掘削 土砂, オープンカット, 有り, ー, 普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土, ー, ー	1.000	m3	327.9	328	S単 30号
	合 計				328	
	単 価				328	
*** B単- 2号 ***						
000002	基盤造成 土砂 BH掘削【ICT】+不整地運搬 (60m超え80m以下)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SC0101	SP 掘削 (ICT) 土砂, オープンカット, 無し, 5,000m3以上10,000m3未満, あり	1.000	m3	372.9	373	S単 48号
S01034	不整地運搬 80m以下	1.000	m3	334	334	S単 1号
	合 計				707	
	単 価				707	
*** B単- 3号 ***						
000003	基盤造成 土砂 BH掘削+不整地運搬 (60m超え80m以下)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SA0101	SP 掘削 土砂, オープンカット, 無し, 無し, 5,000m3以上10,000m3未満, ー, ー	1.000	m3	281.6	282	S単 31号
S01034	不整地運搬 80m以下	1.000	m3	334	334	S単 1号
	合 計				616	
	単 価				616	
*** B単- 4号 ***						
000004	基盤造成 土砂 BH掘削【ICT】+不整地運搬 (80m超え180m以下)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SC0101	SP 掘削 (ICT) 土砂, オープンカット, 無し, 5,000m3以上10,000m3未満, あり	1.000	m3	372.9	373	S単 48号
S01034	不整地運搬 180m以下	1.000	m3	445	445	S単 2号
	合 計				818	
	単 価				818	
*** B単- 5号 ***						
000005	基盤造成 土砂 BH掘削+不整地運搬 (80m超え180m以下)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SA0101	SP 掘削 土砂, オープンカット, 無し, 無し, 5,000m3以上10,000m3未満, ー, ー	1.000	m3	281.6	282	S単 31号
S01034	不整地運搬 180m以下	1.000	m3	445	445	S単 2号
	合 計				727	
	単 価				727	
*** B単- 6号 ***						
000006	盛土法面転圧 粘性土【ICT】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
SC0141	SP 路体 (築堤) 盛土 (ICT) 10,000m3以上, 無し, あり	1.000	m3	251.9	252	S単 49号
	合 計				252	
	単 価				252	
*** B単- 7号 ***						
000007	基盤整地 (畑地部) 粘性土、2回掛け		ha		1.000 ha	歩A 当たり算出
S11005	畑面整地工 (ブルドーザ) 3500㎡, 粘性土, 改良山成畑, 普通, 21 t 級, 2回, 基盤造成後の整地, 4.5	1.000	ha	198.233	198.233	S単 25号

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山工区区画整理（その2）工事					
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				198,233	
	単 価				198,233	
	*** B単ー 8号 ***					
000008	法面整形（切土部） 粘性土【ICT】		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SC0152	SP 法面整形（ICT） 切土部, 1は質土、砂及び砂質土、粘性土、あり	1.000	m ²	880.2	880	S単 50号
	合 計				880	
	単 価				880	
	*** B単ー 9号 ***					
000009	法面整形（盛土部） 粘性土【ICT】		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SC0152	SP 法面整形（ICT） 盛土部、無し, 1は質土、砂及び砂質土、粘性土、あり	1.000	m ²	554.6	555	S単 51号
	合 計				555	
	単 価				555	
	*** B単ー 10号 ***					
000010	既設管撤去 硬質ポリ塩化ビニル管 φ50以下		m		1,000 m	歩A 当たり算出
T01600	硬質ポリ塩化ビニル管人力撤去 φ50以下	1.000	m	388	388	T単 2号
	合 計				388	
	単 価				388	
	*** B単ー 11号 ***					
000011	既設管運搬 廃プラスチック類		台		1,000 台	歩A 当たり算出
S02123	産業廃棄物運搬費(処分費等扱い) 廃プラスチック類(4t車)	1.000	台	12,000	12,000	S単 21号
	合 計				12,000	
	単 価				12,000	
	*** B単ー 12号 ***					
000012	既設管処理 廃プラスチック類		ton		1,000 ton	歩A 当たり算出
S02123	産業廃棄物処理費 廃プラスチック類	1.000	ton	60,000	60,000	S単 22号
	合 計				60,000	
	単 価				60,000	
	*** B単ー 13号 ***					
000013	下層路盤 再生クラッシュヤラン（RC-40） t=14cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0832	SP 下層路盤（車道・路肩部） 140mm, 1層施工, 砕石、なし, 再生クラッシュヤラン RC-40	1.000	m ²	722.1	722	S単 47号
	合 計				722	
	単 価				722	
	*** B単ー 14号 ***					
000014	下層路盤 再生クラッシュヤラン（RC-40） t=14cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0832	SP 下層路盤（車道・路肩部） 140mm, 1層施工, 砕石、なし, 再生クラッシュヤラン RC-40	1.000	m ²	722.1	722	S単 47号
	合 計				722	

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山工区区画整理（その2）工事					
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				722	
	*** B単ー 15号 ***					
000015	ほ場進入路 進入路4、L=1.5m(上り)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
SA0101	SP 掘削 土砂,オーブンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-	0.600	m3	331.1	199	S単 32号
SA0152	SP 法面整形 切土部,-,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土,なし	0.400	m ²	913.5	365	S単 40号
	合 計				564	
	単 価				564	
	*** B単ー 16号 ***					
000016	ほ場進入路 進入路5、L=1.5m(上り)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
SA0101	SP 掘削 土砂,オーブンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-	0.600	m3	331.1	199	S単 32号
SA0152	SP 法面整形 切土部,-,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土,なし	0.400	m ²	913.5	365	S単 40号
	合 計				564	
	単 価				564	
	*** B単ー 17号 ***					
000017	ほ場進入路 進入路6、L=1.5m(下り)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,土量50,000m3未満	0.800	m3	238.9	191	S単 33号
SA0141	SP 路体(築堤)盛土・埋戻 4.0m以上,10,000m3未満,無し,なし	0.700	m3	254.4	178	S単 38号
SA0152	SP 法面整形 盛土部,無し,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土,なし	0.600	m ²	467.4	280	S単 41号
	合 計				649	
	単 価				649	
	*** B単ー 18号 ***					
000018	ほ場進入路 進入路7、L=1.5m(下り)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,土量50,000m3未満	0.800	m3	238.9	191	S単 33号
SA0141	SP 路体(築堤)盛土・埋戻 4.0m以上,10,000m3未満,無し,なし	0.700	m3	254.4	178	S単 38号
SA0152	SP 法面整形 盛土部,無し,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土,なし	0.600	m ²	467.4	280	S単 41号
	合 計				649	
	単 価				649	
	*** B単ー 19号 ***					
000019	排水路(畑地部) BF-400		m		10.000 m	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し,なし	8.200	m3	325.8	2,672	S単 35号
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	3.100	m3	1,068	3,311	S単 34号
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ	2.800	m3	3,112	8,714	S単 3号
SA0151	SP 基面整正 基面整正	6.000	m ²	399	2,394	S単 39号
SA0152	SP 法面整形 切土部,-,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土,なし	5.700	m ²	913.5	5,207	S単 40号
S05801	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎砕石の施工有り,再利用撤去を行なわない	10.000	m	4,044	40,440	S単 23号
S02116	再生クラッシュラン ,RC-40 40～0mm,	0.700	m3	2,600	1,820	S単 10号
S02116	ベンチフリューム 2種 400 L=1,000mm, .	10.000	本	8,400	84,000	S単 11号

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 平山工区区画整理 (その2) 工事						
工事別工事名:平山工区区画整理 (その2) 工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				148,558	
	単 価				14,856	
	*** B単ー 20号 ***					
000020	排水路(道路部) BF-400		m		10,000 m	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し,なし	5.500	m3	325.8	1,792	S単 35号
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	3.100	m3	1,068	3,311	S単 34号
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ	2.800	m3	3,112	8,714	S単 3号
SA0151	SP 基面整正 基面整正	6.000	m ²	399	2,394	S単 39号
S05801	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎砕石の施工有り,再利用撤去を行なわない	10.000	m	4,044	40,440	S単 23号
S02116	再生クラッシュラン ,RC-40 40~0mm,	0.700	m3	2,600	1,820	S単 10号
S02116	ベンチフリューム 2種 400 L=1,000mm,,	10.000	本	8,400	84,000	S単 11号
	合 計				142,471	
	単 価				14,247	
	*** B単ー 21号 ***					
000021	急流工 BF-400		m		10,000 m	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し,なし	6.200	m3	325.8	2,020	S単 35号
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	2.200	m3	1,068	2,350	S単 34号
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ	2.000	m3	3,112	6,224	S単 3号
SA0151	SP 基面整正 基面整正	4.000	m ²	399	1,596	S単 39号
S05801	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,法面縦排水部における作業,基礎砕石の施工無し,再利用撤去を行なわない	10.000	m	4,856	48,560	S単 24号
S02116	ベンチフリューム 2種 400 L=1,000mm,,	10.000	本	8,400	84,000	S単 11号
SA0311	張コンクリート[SPコンクリート] 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	1.000	m3	29,200	29,200	S単 42号
SA0312	SP 型枠 一般型枠,均しコンクリート	2.100	m ²	4,395	9,230	S単 44号
	合 計				183,180	
	単 価				18,318	
	*** B単ー 22号 ***					
000022	跳水防止板 400用 L=1,000mm(GRC製)		枚		1,000 枚	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	0.100	m3	34,280	3,428	S単 43号
SA0312	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	1.100	m ²	7,835	8,619	S単 45号
S02116	跳水防止版 GRC製 側溝幅400用 L=1,000mm,,	1.000	枚	8,200	8,200	S単 12号
S02116	コンクリートアンカー M12×70 ステンレス,,	6.000	本	318	1,908	S単 13号
	合 計				22,155	
	単 価				22,155	
	*** B単 23号 ***					
000023	集水桝 畑地部 800型		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出

事業名		駅館川農地整備事業				
工事名		平山区区画整理（その2）工事				
工事別工事名:平山区区画整理（その2）工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
SA0103	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,	3.000	m3	2,051	6,153	S単 36号
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1.900	m3	1,068	2,029	S単 34号
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ	1.700	m3	3,112	5,290	S単 3号
SA0551	SP コンクリート分水槽据付 据付,1200kgを超え1600kg以下,有り,なし	1.000	基	12,800	12,800	S単 46号
S02116	集水樹 800mm×800mm×800mm T-25 底なし,,	1.000	個	65,000	65,000	S単 14号
	合 計				91,272	
	単 価				91,272	
	*** B単ー 24号 ***					
000024	集水樹蓋（コンクリート蓋） 800型		枚		1,000	歩A 当たり算出
S02116	集水樹用コンクリート蓋 800型 T-2,,	1.000	枚	34,600	34,600	S単 15号
	合 計				34,600	
	単 価				34,600	
	*** B単ー 25号 ***					
000025	承水路工 B=300		m		10,000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし	1.800	m3	293.4	528	S単 37号
SA0151	SP 基面整正 基面整正	3.000	m ²	399	1,197	S単 39号
SA0152	SP 法面整形 切土部,-,無し,礫質土,砂及び砂質土,粘性土,なし	8.500	m ²	913.5	7,765	S単 40号
	合 計				9,490	
	単 価				949	
	*** B単ー 26号 ***					
000026	掘削 土砂		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0101	SP 掘削 土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-	1.000	m3	331.1	331	S単 32号
	合 計				331	
	単 価				331	
	*** B単ー 27号 ***					
000027	法面整形		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0152	SP 法面整形 切土部,-,無し,礫質土,砂及び砂質土,粘性土,なし	1.000	m ²	913.5	914	S単 40号
	合 計				914	
	単 価				914	
	*** B単ー 28号 ***					
000028	基面整正		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0151	SP 基面整正 基面整正	1.000	m ²	399	399	S単 39号
	合 計				399	
	単 価				399	
	*** B単ー 29号 ***					
000029	柵工 H=0.5m		m		1,000	歩A 当たり算出
T00009	柵工 ネット柵,0.5,BS	1.000	m	4,248	4,248	T単 1号

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山工区区画整理（その2）工事					
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				4,248	
	単 価				4,248	
	*** B単— 30号 ***					
000030	重建設機械分解・組立・輸送 ブルドーザ 普通21t級		台		1,000	歩A 当たり算出
S19001	分解・組立・運搬費(重建設機械) ブルドーザ(リッパ装置付含む), 普通21 t 級以下, 運搬～組立～分解～運搬, 基地と 現場の移動,, なし	1.000	台	473,382	473,382	S単 26号
	合 計				473,382	
	単 価				473,382	
	*** B単— 31号 ***					
000031	重建設機械分解・組立・輸送 ブルドーザ 湿地20t級以上21t級以下		台		1,000	歩A 当たり算出
S19001	分解・組立・運搬費(重建設機械) ブルドーザ(リッパ装置付含む), 湿地20 t 級以上21 t 級以下, 運搬～組立～分解～運 搬, 基地と現場の移動,, なし	1.000	台	473,382	473,382	S単 27号
	合 計				473,382	
	単 価				473,382	
	*** B単— 32号 ***					
000032	抜根		ha		1,000	歩A 当たり算出
S19023	抜根(レーキドーザ) 普通レーキドーザ, 11t, 不良, 20,3000	1.000	ha	239,492	239,492	S単 28号
	合 計				239,492	
	単 価				239,492	
	*** B単— 33号 ***					
000033	排根		ha		1,000	歩A 当たり算出
S19024	排根(レーキドーザ) 普通レーキドーザ, 11t, 不良, 70,3250	1.000	ha	154,695	154,695	S単 29号
	合 計				154,695	
	単 価				154,695	
	*** B単— 34号 ***					
000034	変状土CBR試験 設計CBR 2 モーランド		箇所		1,000	歩A 当たり算出
S02116	変状土C B R 試験 設計C B R 2モーランド,,	1.000	試料	40,100	40,100	S単 18号
	合 計				40,100	
	単 価				40,100	
	*** B単— 35号 ***					
000035	保守点検費(ICT) 掘削【ICT】[ハックル]		式		1,000	歩A 当たり算出
S02115	土木一般世話役	1.320	人	30,135	39,778	S単 7号
	合 計				39,778	
	単 価				39,778	
	*** B単— 36号 ***					
000036	保守点検費(ICT) 法面整形【ICT】(切土部)[ハックル]		式		1,000	歩A 当たり算出

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山区区画整理 (その2) 工事					
工事別工事名	平山区区画整理 (その2) 工事					
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S01034	不整地運搬					
	不整地運搬 80m以下		m3	334		歩A・単A
	*** S単- 2号 ***					
S01034	不整地運搬					
	不整地運搬 180m以下		m3	445		歩A・単A
	*** S単- 3号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ		m3	3,112		歩A・単A
	*** S単- 4号 ***					
S02115	土木一般世話役					
	土木一般世話役		人	30,135		歩A・単A
	*** S単- 5号 ***					
S02115	特殊作業員					
	特殊作業員		人	24,150		歩A・単A
	*** S単- 6号 ***					
S02115	普通作業員					
	普通作業員		人	19,950		歩A・単A
	*** S単- 7号 ***					
S02115	土木一般世話役					
	土木一般世話役		人	30,135		歩A・単A
	*** S単- 8号 ***					
S02115	普通作業員					
	普通作業員		人	19,950		歩A・単A
	*** S単- 9号 ***					
S02115	軽作業員					
	軽作業員		人	15,960		歩A・単A
	*** S単- 10号 ***					
S02116	再生クラッシュラン					
	再生クラッシュラン ,RC-40 40~0mm,		m3	2,600		歩A・単A
	*** S単- 11号 ***					
S02116	ベンチフリューム					
	ベンチフリューム 2種 400 L=1,000mm,,		本	8,400		歩A・単A
	*** S単- 12号 ***					
S02116	跳水防止版					
	跳水防止版 GRC製 側溝幅400用 L=1,000mm,,		枚	8,200		歩A・単A
	*** S単- 13号 ***					
S02116	コンクリートアンカー					
	コンクリートアンカー M12×70 ステンレス,,		本	318		歩A・単A
	*** S単- 14号 ***					
S02116	集水樹					
	集水樹 800mm×800mm×800mm T-25 底なし,,		個	65,000		歩A・単A
	*** S単- 15号 ***					
S02116	集水樹用コンクリート蓋					
	集水樹用コンクリート蓋 800型 T-2,,		枚	34,600		歩A・単A
	*** S単- 16号 ***					
S02116	松杭丸太					
	松杭丸太 長1.8m 末口6cm(先端加工費含む、皮むき料なし),,		本	780		歩A・単A
	*** S単- 17号 ***					
S02116	合成樹脂網					
	合成樹脂網 メッシュタイププラスチック系しがらネット 網目3mm,,		m ²	1,350		歩A・単A
	*** S単- 18号 ***					
S02116	変状土CBR試験					
	変状土CBR試験 設計CBR 2メートル,,		試料	40,100		歩A・単A
	*** S単- 19号 ***					
S02116	システム初期費(ICT)					
	システム初期費(ICT) 掘削【ICT】、法面整形【ICT】(ハック切),,		式	598,000		歩A・単A
	*** S単- 20号 ***					
S02116	システム初期費(ICT)					
	システム初期費(ICT) 路体(築堤)盛土【ICT】(ﾌﾞﾙﾄﾞｰｲﾝｸﾞ),,		式	548,000		歩A・単A
	*** S単- 21号 ***					
S02123	産業廃棄物運搬費(処分費等扱い)					
	産業廃棄物運搬費(処分費等扱い) 廃プラスチック類(4t車)		台	12,000		歩A・単A
	*** S単- 22号 ***					
S02123	産業廃棄物処理費					

事業名		駅館川農地整備事業				
工事名		平山工区区画整理 (その2) 工事				
工事別工事名:平山工区区画整理 (その2) 工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	産業廃棄物処理費					
	廃プラスチック類		ton	60,000		歩A・単A
	*** S単一 23号 ***					
S05801	【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,~,~,基礎碎石の施工有り,再利用撤去を行なわない		m	4,044		歩A・単A
	*** S単一 24号 ***					
S05801	【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,~,法面縦排水部における作業,基礎碎石の施工無し,再利用撤去を行なわない		m	4,856		歩A・単A
	*** S単一 25号 ***					
S11005	畑面整地工(ブルドーザ)					
	畑面整地工(ブルドーザ)					
	3500㎡,粘性土,改良山成畑,普通,21 t 級,2回,基盤造成後の整地,4.5		ha	198,233		歩A・単A
	*** S単一 26号 ***					
S19001	分解・組立・運搬費(重建設機械)					
	分解・組立・運搬費(重建設機械)					
	ブルドーザ(リッパ装置付含む),普通21 t 級以下,運搬～組立～分解～運搬,基地と現場の移動,,なし		台	473,382		歩A・単A
	*** S単一 27号 ***					
S19001	分解・組立・運搬費(重建設機械)					
	分解・組立・運搬費(重建設機械)					
	ブルドーザ(リッパ装置付含む),湿地20 t 級以上21 t 級以下,運搬～組立～分解～運搬,基地と現場の移動,,なし		台	473,382		歩A・単A
	*** S単一 28号 ***					
S19023	抜根(レーキドーザ)					
	抜根(レーキドーザ)					
	普通レーキドーザ,11t,不良,20,3000		ha	239,492		歩A・単A
	*** S単一 29号 ***					
S19024	排根(レーキドーザ)					
	排根(レーキドーザ)					
	普通レーキドーザ,11t,不良,70,3250		ha	154,695		歩A・単A
	*** S単一 30号 ***					
SA0101	SP 掘削					
	SP 掘削					
	土砂,オープンカット,有り,~,普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土,~,~,		m3	327.9		歩A・単A
	*** S単一 31号 ***					
SA0101	SP 掘削					
	SP 掘削					
	土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3以上10,000m3未満,~,~,		m3	281.6		歩A・単A
	*** S単一 32号 ***					
SA0101	SP 掘削					
	SP 掘削					
	土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満,~,~,		m3	331.1		歩A・単A
	*** S単一 33号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)					
	SP 積込(ルーズ)					
	土砂,土量50,000m3未満		m3	238.9		歩A・単A
	*** S単一 34号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)					
	SP 積込(ルーズ)					
	土砂,小規模(標準)		m3	1,068		歩A・単A
	*** S単一 35号 ***					
SA0103	SP 床掘り					
	SP 床掘り					
	土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し,なし		m3	325.8		歩A・単A
	*** S単一 36号 ***					
SA0103	SP 床掘り					
	SP 床掘り					
	土砂,上記以外(小規模),~,~,		m3	2,051		歩A・単A
	*** S単一 37号 ***					
SA0103	SP 床掘り					
	SP 床掘り					
	土砂,標準,無し,無し,なし		m3	293.4		歩A・単A
	*** S単一 38号 ***					
SA0141	SP 路体(築堤)盛土・埋戻					
	SP 路体(築堤)盛土・埋戻					
	4.0m以上,10,000m3未満,無し,なし		m3	254.4		歩A・単A
	*** S単一 39号 ***					
SA0151	SP 基面整正					
	SP 基面整正					
	基面整正		㎡	399		歩A・単A
	*** S単一 40号 ***					
SA0152	SP 法面整形					
	SP 法面整形					
	切土部,~,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土,なし		㎡	913.5		歩A・単A
	*** S単一 41号 ***					
SA0152	SP 法面整形					
	SP 法面整形					
	盛土部,無し,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土,なし		㎡	467.4		歩A・単A

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山工区区画整理（その2）工事					
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S01034	不整地運搬		m3		1,000 日	歩A 当たり算出
	不整地運搬 80m以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 運搬距離	80m以下		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
M27975	不整地運搬車[クローラ型・油圧クランプ式・排対型(1次)] 8.0～11.0t積	1.670	供用日	19,700	32,899	
P34029	軽油 バトリック給油	140.000	L	148	20,720	
R01021	運転手（特殊）	1.000	人	27,300	27,300	
	合 計				80,919	算出数量 242.000 m3
	単 価		m3		334	
	*** S単- 2号 ***					
S01034	不整地運搬		m3		1,000 日	歩A 当たり算出
	不整地運搬 180m以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 運搬距離	180m以下		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
M27975	不整地運搬車[クローラ型・油圧クランプ式・排対型(1次)] 8.0～11.0t積	1.670	供用日	19,700	32,899	
P34029	軽油 バトリック給油	140.000	L	148	20,720	
R01021	運転手（特殊）	1.000	人	27,300	27,300	
	合 計				80,919	算出数量 182.000 m3
	単 価		m3		445	
	*** S単- 3号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土、埋戻、まき出し、人力タコ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 土質区分	粘性土・礫質土		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2) 作業区分	埋戻		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	3) 施工区分	まき出し				
	4) 締固め区分	人力タコ				
R01003	普通作業員	1.560	人	19,950	31,122	
	合 計				31,122	算出数量 10.000 m3
	単 価		m3		3,112	
	*** S単- 4号 ***					
S02115	土木一般世話役		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	土木一般世話役			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード	R01001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2) 労務単価算定区分	基(C)		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	30,135	30,135	
	合 計				30,135	算出数量 1.000 人
	単 価				30,135	
	*** S単- 5号 ***					
S02115	特殊作業員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	特殊作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 平山工区区画整理 (その2) 工事						
工事別工事名: 平山工区区画整理 (その2) 工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01002 基 (C)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
R01002	特殊作業員	1.000	人	24,150	24,150	
	合 計				24,150	算出数量 1.000 人
	単 価				24,150	
*** S単- 6号 ***						
S02115	普通作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01003 基 (C)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
R01003	普通作業員	1.000	人	19,950	19,950	
	合 計				19,950	算出数量 1.000 人
	単 価				19,950	
*** S単- 7号 ***						
S02115	土木一般世話役		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	土木一般世話役			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01001 基 (B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	30,135	30,135	
	合 計				30,135	算出数量 1.000 人
	単 価				30,135	
*** S単- 8号 ***						
S02115	普通作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01003 基 (B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
R01003	普通作業員	1.000	人	19,950	19,950	
	合 計				19,950	算出数量 1.000 人
	単 価				19,950	
*** S単- 9号 ***						
S02115	軽作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	軽作業員			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01004 基 (B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
R01004	軽作業員	1.000	人	15,960	15,960	
	合 計				15,960	算出数量 1.000 人
	単 価				15,960	
*** S単- 10号 ***						

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山工区区画整理（その2）工事					
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02116	再生クラッシャラン		m3		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	再生クラッシャラン RC-40 40～0mm,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P）	地区資材（Jコード）		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）	J03118		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
J03118	再生クラッシャラン RC-40 40～0mm	1,000	m3	2,600	2,600	
	合 計				2,600	算出数量 1,000 各単位
	単 価				2,600	
	*** S単－ 11号 ***					
S02116	ベンチフリューム		本		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ベンチフリューム 2種 400 L=1,000mm, ,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P）	地域資材（Pコード） P96003		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96003	ベンチフリューム 2種 400 L=1,000mm	1,000	本	8,400	8,400	
	合 計				8,400	算出数量 1,000 各単位
	単 価				8,400	
	*** S単－ 12号 ***					
S02116	跳水防止版		枚		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	跳水防止版 GRC製 側溝幅400用 L=1,000mm, ,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P）	地域資材（Pコード） P96268		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96268	跳水防止版 GRC製 側溝幅400用 L=1,000mm	1,000	枚	8,200	8,200	
	合 計				8,200	算出数量 1,000 各単位
	単 価				8,200	
	*** S単－ 13号 ***					
S02116	コンクリートアンカー		本		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリートアンカー M12×70 ステンレス, ,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P）	地域資材（Pコード） P97713		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P97713	コンクリートアンカー M12×70 ステンレス	1,000	本	318	318	
	合 計				318	算出数量 1,000 各単位
	単 価				318	
	*** S単－ 14号 ***					
S02116	集水樹		個		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	集水樹 800mm×800mm×800mm T-25 底なし, ,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P）	地域資材（Pコード） P96039		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96039	集水樹 800mm×800mm×800mm T-25 底なし	1,000	個	65,000	65,000	
	合 計				65,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				65,000	

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山工区区画整理（その2）工事					
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 15号 ***					
S02116	集水樹用コンクリート蓋		枚		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	集水樹用コンクリート蓋 800型 T-2,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P） 3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）	地域資材（Pコード） P96297		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
P96297	集水樹用コンクリート蓋 800型 T-2	1.000	枚		34,600	
	合 計				34,600	算出数量 1.000 各単位
	単 価				34,600	
	*** S単ー 16号 ***					
S02116	松杭丸太		本		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	松杭丸太 長1.8m 末口6cm(先端加工費含む、皮むき料なし) ,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P） 3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）	地域資材（Pコード） P33062		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
P33062	松杭丸太 長1.8m 末口6cm(先端加工費含む、皮むき料なし)	1.000	本		780	
	合 計				780	算出数量 1.000 各単位
	単 価				780	
	*** S単ー 17号 ***					
S02116	合成樹脂網		m ²		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	合成樹脂網 メッシュタイプ プラスチック系しがらネット 網目3mm,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P） 3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）	地域資材（Pコード） P29003		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
P29003	合成樹脂網 メッシュタイプ プラスチック系しがらネット 網目3mm	1.000	m ²		1,350	
	合 計				1,350	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,350	
	*** S単ー 18号 ***					
S02116	変状土C B R試験		試料		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	変状土C B R試験 設計C B R 2メートル,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P） 3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）	地域資材（Pコード） P45118		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
P45118	変状土C B R試験 設計C B R 2メートル	1.000	試料		40,100	
	合 計				40,100	算出数量 1.000 各単位
	単 価				40,100	
	*** S単ー 19号 ***					
S02116	システム初期費(ICT)		式		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	システム初期費(ICT) 掘削【ICT】、法面整形【ICT】(ﾊﾞｯｸﾌｫﾙ),,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード（P） 3)地区資材単価コード（J） 4)施設機械資材単価コード（K）	地域資材（Pコード） P96330		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
P96330	システム初期費(ICT) 掘削【ICT】、法面整形【ICT】(ﾊﾞｯｸﾌｫﾙ)	1.000	式		598.000	

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山工区区画整理（その2）工事					
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				598,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				598,000	
	*** S単- 20号 ***					
S02116	システム初期費(ICT)		式		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	システム初期費(ICT)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	路体(築堤)盛土【ICT】(ﾌﾞﾙﾄﾞｰﾝ),,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)資材区分	地域資材（Pコード）		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)地域資材単価コード（P）	P96331				
	3)地区資材単価コード（J）					
	4)施設機械資材単価コード（K）					
P96331	システム初期費(ICT)					
	路体(築堤)盛土【ICT】(ﾌﾞﾙﾄﾞｰﾝ)	1.000	式	548,000	548,000	
	合 計				548,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				548,000	
	*** S単- 21号 ***					
S02123	産業廃棄物運搬費(処分費等扱い)		台		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	産業廃棄物運搬費(処分費等扱い)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	廃プラスチック類(4t車)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)地域資材単価コード	P99912		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)資材規格	廃プラスチック類(4t車)				
	3)単価の入力	12,000円				
P99912	産業廃棄物運搬費(処分費等扱い)					
	廃プラスチック類(4t車)	1.000	台	12,000	12,000	
	合 計				12,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				12,000	
	*** S単- 22号 ***					
S02123	産業廃棄物処理費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	産業廃棄物処理費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	廃プラスチック類			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)地域資材単価コード	P99913		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)資材規格	廃プラスチック類				
	3)単価の入力	60,000円				
P99913	産業廃棄物処理費					
	廃プラスチック類	1.000	ton	60,000	60,000	
	合 計				60,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				60,000	
	*** S単- 23号 ***					
S05801	【排水構造物工】		m		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,--,基礎砕石の施工有り,再利用撤去を行なわない			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)施工区分Ⅰ	U型側溝		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)施工区分Ⅱ	昼間施工				
	3)規格Ⅰ	L=2000				
	4)規格Ⅱ	1000kg/個以下				
	5)時間的制約	なし				
	6)L=1000を使用	L=1000を使用する				
	7)L=4000を使用	L=4000を使用しない				
	8)L=5000を使用	L=5000を使用しない				
	9)法面小段面	-				
	10)法面縦排水	-				
	11)再利用撤去の有無	再利用撤去を行なわない				
	12)基礎砕石の施工有無	基礎砕石の施工有り				
A71103	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無 L=2000mm 1000kg/個以下 機・労 昼間単価		1.000	m	4,044	
	合 計				4,044	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価			[各単位]	4,044	

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 平山工区区画整理 (その2) 工事						
工事別工事名: 平山工区区画整理 (その2) 工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単— 24号 ***					
S05801	【排水構造物工】		m		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝, 昼間施工, L=2000, 1000kg/個以下, なし, -, 法面縦排水部に おける作業, 基礎碎石の施工無し, 再利用撤去を行わない			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
	1) 施工区分Ⅰ 2) 施工区分Ⅱ 3) 規格Ⅰ 4) 規格Ⅱ 5) 時間的制約 6) L=1000を使用 7) L=4000を使用 8) L=5000を使用 9) 法面小段面 10) 法面縦排水 11) 再利用撤去の有無 12) 基礎碎石の施工有無	U型側溝 昼間施工 L=2000 1000kg/個以下 なし L=1000を使用する L=4000を使用しない L=5000を使用しない - 法面縦排水部における作業 再利用撤去を行わない 基礎碎石の施工無し				
A71103	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無 L=2000mm 1000kg/個以下 機・労 昼間単価	1.000	m	4.856	4.856	
	合 計				4.856	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		4.856	
	*** S単— 25号 ***					
S11005	畑面整地工(ブルドーザ)		ha		1.000 ha	歩A 当たり算出
	畑面整地工(ブルドーザ) 3500㎡, 粘性土, 改良山成畑, 普通, 21 t 級, 2回, 基盤造成後の整地, 4. 5			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
	1) 平均整地作業区画面積 (Xm2) 2) 土質区分 3) 施工区分 4) 機械区分 5) 規格区分 6) 整地回数 (N) 7) 作業内容 8) 整地作業の補助労務 (人/ha)	3,500.000㎡ 粘性土 改良山成畑 普通 21 t 級 2.000回 基盤造成後の整地 4.5				
M01027	ブルドーザ [普通・排対型 (1次)] 21 t 級	7.000	時間	7.870	55,090	
P34029	軽油 バトロウ給油	154.000	L	148	22,792	
R01021	運転手 (特殊)	1.120	人	27,300	30,576	
R01003	普通作業員	4.500	人	19,950	89,775	
	合 計				198,233	算出数量 1.000 ha
	単 価		ha		198,233	
	*** S単— 26号 ***					
S19001	分解・組立・運搬費 (重建設機械)		台		1.000 台	歩A 当たり算出
	分解・組立・運搬費 (重建設機械) ブルドーザ (リッパ 装置付含む), 普通21 t 級以下, 運搬～組立～分解～運 搬, 基地と現場の移動, , なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
	1) 機械区分 2) 規格区分 3) 移動区分 4) 計上範囲 6) 長期割引単価区分 (賃料機械)	ブルドーザ (リッパ 装置付含む) 普通21 t 級以下 基地と現場の移動 運搬～組立～分解～運搬 なし				
R01002	特殊作業員	2.800	人	24,150	67,620	
F01086	フレン・クレーン [油圧伸縮ジブ型・低騒・排対型 (2011)] 吊上能力25t吊	2.100	日	56,200	118,020	
Y00004	運搬費等	1.550		185,640	287,742	
	合 計				473,382	算出数量 1.000 台
	単 価		台		473,382	

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 平山工区区画整理 (その2) 工事						
工事別工事名: 平山工区区画整理 (その2) 工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 27号 ***					
S19001	分解・組立・運搬費(重建設機械)		台		1,000	歩A 当たり算出
	分解・組立・運搬費(重建設機械)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ(ﾘｯﾊﾟ装置付含む), 湿地20 t 級以上21 t 級以下, 運搬～組立～分解～運搬, 基地と現場の移動,, なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)機械区分	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ(ﾘｯﾊﾟ装置付含む)		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)規格区分	湿地20 t 級以上21 t 級以下				
	3)移動区分	基地と現場の移動				
	4)計上範囲	運搬～組立～分解～運搬				
	6)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
R01002	特殊作業員	2,800	人	24,150	67,620	
F01086	ラフレンクレーン[油圧伸縮ｼﾌﾞ型・低騒・排対型(2011)] 吊上能力25t吊	2,100	日	56,200	118,020	
Y00004	運搬費等	1,550		185,640	287,742	
	合 計				473,382	算出数量 1,000 台
	単 価		台		473,382	
	*** S単- 28号 ***					
S19023	抜根(レーキドーザ)		ha		1,000	歩A 当たり算出
	抜根(レーキドーザ)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	普通ﾚｰｷﾄﾞｰｻﾞ, 11t, 不良, 20, 3000			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)機械区分	普通ﾚｰｷﾄﾞｰｻﾞ		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)規格区分	11t				
	3)現場条件	不良				
	4)平均樹径(cm)	20				
	5)樹木密度(本/ha)	3000				
M01182	ﾚｰｷﾄﾞｰｻﾞ[普通] 11t	22,000	時間	5,140	113,080	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油	286,000	L	148	42,328	
R01021	運転手 (特殊)	3,080	人	27,300	84,084	
	合 計				239,492	算出数量 1,000 ha
	単 価		ha		239,492	
	*** S単- 29号 ***					
S19024	排根(レーキドーザ)		ha		1,000	歩A 当たり算出
	排根(レーキドーザ)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	普通ﾚｰｷﾄﾞｰｻﾞ, 11t, 不良, 70, 3250			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)機械区分	普通ﾚｰｷﾄﾞｰｻﾞ		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)規格区分	11t				
	3)現場条件	不良				
	4)排根距離(m)	70				
	5)樹木密度(本/ha)	3250				
M01182	ﾚｰｷﾄﾞｰｻﾞ[普通] 11t	14,200	時間	5,140	72,988	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油	185,000	L	148	27,380	
R01021	運転手 (特殊)	1,990	人	27,300	54,327	
	合 計				154,695	算出数量 1,000 ha
	単 価		ha		154,695	
	*** S単- 30号 ***					
SA0101	SP 掘削		m3		1,000	歩A 当たり算出
	SP 掘削			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	土砂, ﾎﾟｰﾝｶｯﾄ, 有り, -, 普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土, -, -, -			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	ﾎﾟｰﾝｶｯﾄ				

事業名		駅館川農地整備事業				
工事名		平山工区区画整理（その2）工事				
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3) 押土の有無	有り				
	4) 障害の有無	-				
	5) 施工数量	普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土				
	6) 火薬使用	-				
	7) 破砕片除去の有無	-				
	8) 集積押土の有無	-				
	単 価		m3		327.9	
	*** S単- 31号 ***					
SA0101	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3以上10,000m3未満,-,-,-			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1) 土質	土砂				
	2) 施工方法	オープンカット				
	3) 押土の有無	無し				
	4) 障害の有無	無し				
	5) 施工数量	5,000m3以上10,000m3未満				
	6) 火薬使用	-				
	7) 破砕片除去の有無	-				
	8) 集積押土の有無	-				
	単 価		m3		281.6	
	*** S単- 32号 ***					
SA0101	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1) 土質	土砂				
	2) 施工方法	オープンカット				
	3) 押土の有無	無し				
	4) 障害の有無	無し				
	5) 施工数量	5,000m3未満				
	6) 火薬使用	-				
	7) 破砕片除去の有無	-				
	8) 集積押土の有無	-				
	単 価		m3		331.1	
	*** S単- 33号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	土砂,土量50,000m3未満			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1) 土質	土砂				
	2) 作業内容	土量50,000m3未満				
	単 価		m3		238.9	
	*** S単- 34号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	土砂,小規模(標準)			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1) 土質	土砂				
	2) 作業内容	小規模(標準)				
	単 価		m3		1,068	

事業名		駅館川農地整備事業				
工事名		平山工区区画整理（その2）工事				
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 35号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法	土砂 平均施工幅1m以上2m未満				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	無し 無し				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m3		325.8	
	*** S単－ 36号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法	土砂 上記以外(小規模)				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	- -				
	単 価		m3		2,051	
	*** S単－ 37号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法	土砂 標準				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	無し 無し				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m3		293.4	
	*** S単－ 38号 ***					
SA0141	SP 路体（築堤）盛土・埋戻		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 路体（築堤）盛土・埋戻 4.0m以上,10,000m3未満,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)施工幅員 2)施工数量	4.0m以上 10,000m3未満				
	3)障害の有無 4)長期割引単価区分	無し なし				
	単 価		m3		254.4	
	*** S単－ 39号 ***					
SA0151	SP 基面整正		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基面整正 基面整正			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 平山工区区画整理 (その2) 工事						
工事別工事名: 平山工区区画整理 (その2) 工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1) 整形区分	基面整正				
	単 価		m ²		399	
	*** S単- 40号 ***					
SA0152	SP 法面整形		m ²		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 切土部, -, 無し, け質土、砂及び砂質土、粘性土、なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	1) 整形箇所 2) 法面締固めの有無	切土部 -				
	3) 現場制約の有無 4) 土質	無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	5) 長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		913.5	
	*** S単- 41号 ***					
SA0152	SP 法面整形		m ²		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部, 無し, 無し, け質土、砂及び砂質土、粘性土、なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	1) 整形箇所 2) 法面締固めの有無	盛土部 無し				
	3) 現場制約の有無 4) 土質	無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	5) 長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		467.4	
	*** S単- 42号 ***					
SA0311	張コンクリート[SPコンクリート]		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-25 (20) (高炉B) W/C65%			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	1) 構造物種別 2) 打設工法	無筋・鉄筋構造物 人力打設				
	3) コンクリートの計上 4) 設計日打設量	計上する -				
	5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分	一般養生 -				
	7) 現場内小運搬の有無 8) 打設高さ、水平打設距離	無し -				
	10) 規格区分	18-8-25 (20) (高炉B) W/C65%				
	単 価		m ³		29,200	
	*** S単- 43号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-25 (20) (高炉B) W/C65%			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	1) 構造物種別 2) 打設工法	小型構造物 人力打設				
	3) コンクリートの計上 4) 設計日打設量	計上する -				
	5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分	一般養生 -				

事業名		駅館川農地整備事業				
工事名		平山工区区画整理（その2）工事				
工事別工事名: 平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	7)現場内小運搬の有無	無し				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	18-8-25 (20) (高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		34,280	
	*** S単- 44号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠, 均しコンクリート			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	1)型枠の種類 2)構造物の種類	一般型枠 均しコンクリート				
	単 価		m ²		4,395	
	*** S単- 45号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠, 小型構造物			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	1)型枠の種類 2)構造物の種類	一般型枠 小型構造物				
	単 価		m ²		7,835	
	*** S単- 46号 ***					
SA0551	SP コンクリート分水槽据付		基		1,000 基	歩A 当たり算出
	SP コンクリート分水槽据付 据付, 1200kgを超え1600kg以下, 有り, なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	1)作業区分 2)製品質量(kg/基) 3)基礎碎石の有無 4)長期割引単価区分	据付 1200kgを超え1600kg以下 有り なし				
	単 価		基		12,800	
	*** S単- 47号 ***					
SA0832	SP 下層路盤（車道・路肩部）		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部） 140mm, 1層施工, 砕石, なし, 再生クラッシャーラン RC-40			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	1)全仕上り厚 2)施工区分 3)材料 4)長期割引単価区分 5)材料規格の選択	140mm 1層施工 砕石 なし 再生クラッシャーラン RC-40				
	単 価		m ²		722.1	
	*** S単- 48号 ***					
SC0101	SP 掘削（ICT）		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削（ICT） 土砂, オープンカット, 無し, 5,000m3以上10,000m3未満, あり			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	平山工区区画整理（その2）工事					
工事別工事名:平山工区区画整理（その2）工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	オープンカット				
	3)障害の有無	無し				
	4)施工数量	5,000m3以上10,000m3未満				
	5)長期割引単価区分	あり				
	単 価		m3		372.9	
	*** S単- 49号 ***					
SC0141	SP 路体（築堤）盛土（ICT）		m3		1.000 m3	歩A
	SP 路体（築堤）盛土（ICT） 10,000m3以上,無し,あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	当たり算出
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)施工数量	10,000m3以上				
	2)障害の有無	無し				
	3)長期割引単価区分	あり				
	単 価		m3		251.9	
	*** S単- 50号 ***					
SC0152	SP 法面整形（ICT）		m ²		1.000 m ²	歩A
	SP 法面整形（ICT） 切土部,ㄱ,ㄷ質土、砂及び砂質土、粘性土,あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	当たり算出
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)整形箇所	切土部				
	2)法面締固めの有無	-				
	3)土質	ㄷ質土、砂及び砂質土、粘性土				
	4)長期割引単価区分	あり				
	単 価		m ²		880.2	
	*** S単- 51号 ***					
SC0152	SP 法面整形（ICT）		m ²		1.000 m ²	歩A
	SP 法面整形（ICT） 盛土部,無し,ㄷ質土、砂及び砂質土、粘性土,あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	当たり算出
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)整形箇所	盛土部				
	2)法面締固めの有無	無し				
	3)土質	ㄷ質土、砂及び砂質土、粘性土				
	4)長期割引単価区分	あり				
	単 価		m ²		554.6	

[illegible]

[illegible]

令和5年度 駅館川農地整備事業

ひらやま 平山工区区画整理（その2）工事

特別仕様書

九州農政局
駅館川農地整備事業所

第1章 総則

令和5年度駅館川農地整備事業 平山工区区画整理（その2）工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、国営駅館川土地改良事業計画に基づき平山工区における区画整理を行うものである。

2. 工事場所

大分県宇佐市安心院町平山地内

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

区画整理工	ほ場面積	$A = 1.39 \text{ ha}$
造成工		$V = 40,160 \text{ m}^3$
道路工		$L = 349.0 \text{ m}$
排水路工		$L = 112.0 \text{ m}$
付帯工		一式

4. 工事数量

別紙－1「工事数量表」のとおりである。

なお、本工事は標準的な設計図書による発注であり、工事数量表の備考欄に「概」と表示した数量については、設計変更で処理する。

第3章 施工条件

1. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等67日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日、夏期休暇を含んでいる。

2. 現場技術員

本工事は、共通仕様書第1編1－1－9に規定している現場技術員を配置する。

なお、氏名等については、別に通知する。

3. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。

なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている187日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに様式1と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。

また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和6年12月20日（工事完了期限日）まで

※工事完了期限内における工期の変更については、受注者から変更理由が記載された書面での協議を行うこと。

4. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

5. 工事を施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、夏期休暇（8月13日～8月15日）。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、気象条件等により上記の工事を施工しない日においてやむを得ず施工が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

6. 施工しない時間帯

原則、平日の午後6時から午前8時まで。

なお、気象条件等により上記の工事を施工しない時間帯においてやむを得ず施工が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

第4章 現場条件

1. 土質

本工事の施工場所の土質は、粘性土を想定している。

2. 関連工事

本工事に関連する工事として次に示す工事を実施及び予定しているので、監督職員及び関連する工事の責任者と十分に連絡、協議し工事工程に支障が生じないように調整しなければならない。

令和4年度駅館川農地整備事業 平山工区区画整理（その1）工事

（予定工期 令和5年9月4日～令和6年6月4日）

3. 第三者に対する措置

（1）騒音、振動対策

騒音、振動等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

なお、第三者との協議において対策を講じる必要がある場合には、本工事に騒音、振動調査を変更追加することがある。

（2）濁水処理対策

沈砂池については土砂を沈殿させ、発生する濁水を地区外に流さないための施設であり、工事期間中を含め常時機能が発揮できる状態を保たなければならないが、別途対策が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

（3）保安対策

本工事における交通誘導警備員は計上していないが、現地交通状況等により必要な場合は、監督職員と協議するものとする。

（4）交通対策

1）工事用車輛は、工事区域内外の運行に際し制限速度等を遵守しなければならない。

2）工事用車輛は、主要資材の搬入搬出及び残土運搬時等において、車輛からの流出、飛散を防止しなければならない。

3）工事用車輛の運行に伴い、一般道路等が損傷し道路管理者から修復等を求められた場合には、その補修工事を指示することがある。このため、頻繁に工事用車輛の運行が予想される工事現場周辺の一般道路等は、事前にその路面状況等を記録しておかなければならない。

なお、受注者の責で道路を損傷した場合は現況復旧を行うものとする。

ただし、善良な使用にもかかわらず路面等の補修が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。

（5）防塵対策

防塵対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

なお、現地の状況等により対策が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

（6）現場内への立入制限等

安全のため第三者の現場内への立ち入りを制限するとともに、必要な箇所には安全施設を設置するものとする。

（7）営農対策

工事施工に当たっては、周辺の農地では耕作が行われているので、営農に支障がないように努めなければならない。

4. 地区境界付近の施工等

地区境界付近の施工は山林原野の場合 1.0m 程度離して施工し、他の施設（道路、水路、家屋等）と近接して施工する場合は、施設の保全を十分考慮して行うものとする。

5. 土砂等の流出防止工

天気予報について十分な注意を払い、設計図書に示す防災施設工等を設置するとともに、必要に応じ仮設沈砂池等を設け、工事区域外への土砂等の流出防止に努めなければならない。

なお、仮設沈砂池等の計画については、監督職員と協議するものとする。

6. 関係者との調整

本工事の施工に際しては、隣接地権者及び関係者と問題が生じないよう十分に調整を行わなければならない。

7. 地下埋設物の確認

工事区域内には農業用水管が埋設されているので、事前に埋設位置を確認し事故防止に努めなければならない。

8. 自然環境の保全

工事場所やその周辺において、別途配布する「駅館川農地整備事業環境配慮ハンドブック」にある重要な動植物を発見した場合には、速やかに監督職員に状況を報告するものとする。

第5章 指定仮設

1. 工事用道路等

本工事の施工にあたっては、市道深見院内線から農道（安心院土地改良区管理）を通る形で現場搬入路として利用しなければならない。

なお、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第6章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

発注者が確保している工事用地及び工事施工上必要な用地（以下、「工事用地等」という。）は、図面に示すとおりである。

2. 工事用地等の使用

- (1) 発注者が確保している工事用地等については、工事施工に先立ち、監督職員の立会の上、用地境界、使用条件等を確認しなければならない。

第7章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第8章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は次のとおりであり、監督職員が指示する材料については、試験成績書等を提出しなければならない。

(1) 石材及び骨材

- 1) 再生クラッシャーラン RC-40

(2) コンクリート

- 1) コンクリートは、レディーミクストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種 類	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	水セメ ント比 W/C(%)	セメント の種類に よる記号	使用目的
無筋コンクリート (一般構造物)	18	8	25	65以 下	BB	張コンクリート

※粗骨材最大寸法25mmは、地域的に骨材の入手が困難な場合20mmの使用を可能とする。

(3) コンクリート二次製品

- 1) 鉄筋コンクリートベンチフリューム (2種) BF400
2) 集水桝 800×800 型 (T-25)
3) コンクリート蓋 800×800 型 (T-2)

(4) 鉄鋼材

- 1) コンクリートアンカー SUS 製 M12 70mm

(5) 木材

受注者は、設計図書に木材の使用を指定されている場合はこれに従うものとし、任意仮設等においても木材利用の促進に留意しなければならない。

- 1) 松杭丸太 長1.8m 末口9cm

(6) その他

- 1) 跳水防止板 GRC 製 側溝幅400用
2) メッシュタイププラスチック系しがらネット 網目3mm

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
石材及び骨材	試験成績書、粒度分布表
コンクリート	試験成績書、配合報告書
コンクリート二次製品	試験成績書、カタログ
その他材料	カタログ又は試験成績書等

3. 監督職員の検査又は試験

次に示す工事材料は、使用前に監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

材 料 名	検査・試験項目	備 考
コンクリート二次製品	寸法・外観	抽出検査

第9章 施工

1. 一般事項

(1) 基準点

本工事の基準点及び水準点は、図面に示すものを使用しなければならない。

なお、基準点等の位置データは、測地成果 2011 に対応したものである。

(2) 検測又は確認（施工段階確認）

1) 本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。

ただし、確認時期については、受発注者の協議により変更する場合がある。

2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

工種	確認内容	確認時期	遠隔確認対象	備考
砕石基礎	幅 厚さ	初期施工段階で1箇所	—	
基盤造成	基準高	施工完了時点で1箇所	—	
路盤工	基準高 厚さ	初期施工段階で1箇所。以降、 構造変更ごとに1箇所。	—	

(3) 中間技術検査

1) 発注者から中間技術検査を実施する旨、通知を受けた場合は従わなければならない。

2) 中間技術検査を受ける場合、あらかじめ監督職員から指示する出来形図及び出来形数量内訳書を作成し、監督職員へ提出しなければならない。

3) 契約図書により義務づけられた工事記録写真、出来形管理資料、出来形図及び工事報告書等の資

料を整備し、中間技術検査を命ぜられた職員（以下「技術検査職員」という。）から提示を求められた場合は従わなければならない。

4) 技術検査職員から修補を求められた場合は従わなければならない。

5) 中間技術検査及び修補に要する費用は、受注者の負担とする。

(4) 既設構造物に対する措置

本工事の施工に当たって、既設構造物を取壊し撤去する場合は、構造・寸法について事前に監督職員に報告して確認を受けなければならない。

(5) その他

1) 工事施工に先立ち地区境杭及びその他の杭については、事前に現地で確認しなければならない。

なお、これらの杭については、工事施工中においても移動しないよう留意するものとし、必要に応じて控杭等を設けなければならない。

ただし、施工上支障になる場合は、引照杭等を設け工事完了後復元するものとする。

2) 工事施工に先立ち、極力地区外の排水は、これを遮断し地区内への流入を防ぐとともに、施工に当たってはなるべく地区内の地表水及び地下水を排除した状態で施工するものとする。

なお、工事中滞水が生じたときは速やかに排除しなくてはならない。

3) ブルドーザの走行回数をできるだけ少なくして、過転圧やこね回しとならないよう施工しなければならない。

2. 再生資源等の利用

(1) 再生資材の利用

受注者は、次に示す再生資材を利用しなければならない。

資 材 名	規 格	備 考
再生クラッシャーラン	RC-40	下層路盤、基礎碎石

なお、舗装材に使用する場合等には「舗装再生便覧」（（公社）日本道路協会発行）等を遵守する。

(2) 建設資材廃棄物等の現場内利用

受注者は、本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物について、本現場内で利用可能か検討し、その利用方法等について監督職員と協議しなければならない。

なお、分別の徹底及び、適切な保管を行うものとする。

3. 建設資材廃棄物等の搬出

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材 廃 棄 物	処 理 施設名	住所	受け入れ 時 間	事業区分
廃プラスチック類	平山産業（株）	大分県中津市三光下 秣字大源寺平 310-1	8:30～16:00	中間処分

4. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工 (造成工)	土工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

■が該当する部分である。

5. 土工

(1) 掘削及び床掘

- 1) 掘削土及び床掘土は、埋戻し及び盛土に流用するものとする。
- 2) 掘削に当たっては、法面の崩落に十分注意して施工しなければならない。
- 3) 法面の崩落により他の施設に重大な影響が発生又は、そのおそれが認められる場合は、速やかに監督職員と協議しなければならない。

(2) 埋戻し及び盛土

- 1) 埋戻し及び盛土は原則として現地土を流用するものとする。
- 2) 盛土法面部から水平幅 5.0m の範囲は一層の仕上り厚さが 30cm 以下になるようにまき出し、締固め度 90%以上 (A B 法) となるよう締固めなければならない。
- 3) 盛土法面部から水平幅 5.0m の範囲の転圧において、雨水等排水処理を行っているにもかかわらず、現地土の状態により敷均し締固め機械走行に必要なトラフィカビリティが確保できず、盛土・締固めが困難な場合は、現地土の状態が分かる資料 (コーン貫入試験結果等) を作成・提出し、監督職員と協議しなければならない。

6. 造成工

(1) 抜根、排根

- 1) 抜排根の範囲は図面に示す範囲とし、切土部、盛土高 1.0m 以下及び盛土法尻から内側 5.0m までの盛土部とする。
- 2) 抜根したものは原則として、資源の有効利用の観点から現場内利用とするか、あるいは再資源化等の施設において適正に処理しなければならない。

(2) 基盤切盛

- 1) 基盤盛土にあたっては、不等沈下が生じないよう層状にまき出して締め固めるものとする。
また、土質、含水状況に応じて監督職員と協議するものとする。
- 2) 切盛後において基盤面、又は地区境の法尻に湧水等が出た場合は、監督職員と協議し、排水処理

をした後でなければ、基盤整地作業をしてはならない。

3) 雨天時には基盤切盛り作業を中断しなければならない。

また、工事を再開又は終了するときは、水切り作業を行いドライな状態での施工を心掛けなければならない。

4) 切土の場合は切り過ぎないように注意するとともに、切土面に湧水やすべり面などの異層のあることが発見された場合は、直ちに作業を中止して、対策を講じるとともに監督職員に報告しなければならない。

(3) 基盤整地

基盤の均平作業は作業の良し悪しにより、耕土厚・作物育成にむらを生じる原因となり、手直し作業は非常に困難なことから、作業は細心の注意を払って仕上げなければならない。

7. 排水路工

(1) 排水路勾配は原則として地形勾配を基準とする。

(2) 曲線部で取り合わせが困難な箇所はコンクリートを打設して、接合部分を滑らかに施工して流水に支障のないようにしなければならない。

(3) 水路急流部及び鋭角部については、張コンクリート等により、法面を保護するものとする。

また、集水枳の水はね防止などは、蓋等により保護を行うものとする。

(4) 排水路工の埋戻しに当たり沈下を起こさないようタコ等で十分締固めを行うものとする。

また、流末処理については法面の侵食等をおこさないよう、十分注意して施工を行うものとする。

なお、基盤切盛り完了後の仕上がり標高を推定し手戻りがないように施工しなければならない。詳細な取り付け位置は監督職員と協議するものとする。

8. 道路工

(1) 支線道路及び耕作道路

1) 支線道路及び耕作道路は、設計図書に基づき施工するものとするが、これによりがたい場合は、監督職員と協議のうえ施工しなければならない。

(2) 隅切

道路交差部の隅切は、図面に示すとおり施工しなければならない。

(3) CBR 試験

1) 着工前に図面に示す箇所の現地土による室内配合試験を行い、監督職員の承諾を得るものとする。

2) アスファルト舗装の路床の設計 CBR は 3 を想定しており、設計変更が必要な場合は監督職員と協議するものとする。

(4) 路盤工

1) 下層路盤工は、再生クラッシャーラン (RC-40) を施工条件に適合した機種で締固めなければならない。

また、側溝等構造物近接部は、施工条件に適合した小型の締固め機械で十分に締固めなければならない。

(5) ほ場進入路工

1) ほ場進入路は原則として 1 耕区に 1 箇所 (全幅 4 m) 設置しなければならない。

- 2) ほ場進入路の縦断勾配は設計図書の標準図に示すとおり 18%以下とするが、地形上やむを得ない場合は監督職員と協議しなければならない。

9. 基礎工

(1) 基礎碎石

基礎碎石の締固めは、施工条件に合った機種の締固め機械で十分に締固めなければならない。

10. 防災施設工

(1) 沈砂池工

ほ場内沈砂池工は、図面に示すとおり計画しているが、現地に合致しない場合は監督職員と協議しなければならない。

(2) 土砂流出防護柵工

土砂流出防護柵は、図面に示すとおり計画しているが、現地に合致しない場合は監督職員と協議しなければならない。

第 10 章 情報化施工技術の活用について

1. 適用

本工事は、「情報化施工技術の活用ガイドライン」（農林水産省農村振興局整備部設計課）に基づき、情報通信技術（ICT）の活用により生産性及び施工品質の向上を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、出来形管理資料の作成等において、情報化施工技術を活用する「情報化施工技術活用工事」（発注者指定型）である。

2. 定義

- (1) 国営土地改良事業等における情報化施工技術活用工事とは、情報化施工技術の活用等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取組であり、その実現に向けて情報化施工を活用した工事を実施するものである。
- (2) 情報化施工技術活用工事とは、下記に記載するア～オの全て又は一部の段階で情報化施工技術を活用する工事をいう。

対象は、土工を含む工事とする。

- ア 3次元起工測量
- イ 3次元設計データ作成
- ウ ICT建設機械による施工
- エ 3次元出来形管理等の施工管理
- オ 3次元データの納品

3. 受注者は、土工以外に情報化施工を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出含む）までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場

合に次の４～９による情報化施工を行うことができる。

- ４．原則、本工事においては上記２．（２）ア～オのうち、ウ～オの段階で情報化施工技術を活用することとし、土工について施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容及び対象範囲を監督職員と協議するものとする。なお、土工以外の工種に関する情報化施工技術の活用を提案・協議した場合は、土工と共に実施内容について施工計画書に記載するものとする。

５．情報化施工技術を用い、以下の施工を実施する。

（１）ＩＣＴ建設機械による施工

受注者は６で貸与する３次元設計データを用いて、下記に示すＩＣＴ建設機械を作業に応じて選択し、ＩＣＴ建設機械施工を実施する。

ア ３次元ＭＣ又は３次元ＭＧ建設機械

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動抑制する３次元マシンコントロール技術（ＭＣ）又は、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する３次元マシンガイダンス技術（ＭＧ）を用いて実施する。

○ＩＣＴ建設機械による施工

- ・ＭＣブルドーザ、ＭＣバックホウ
- ・ＭＧブルドーザ、ＭＧバックホウ

（２）３次元出来形管理等の施工管理

受注者は、５．（１）による工事の施工管理において、次のア～ケから選択（複数選択可）して出来形管理を行うものとし、面管理又は断面管理及び変化点の計測による出来形管理が選択できる。出来形管理に当たっては、面管理が規定されている工種については標準的に面管理を実施するものとするが、面管理が非効率になる場合は、監督職員との協議の上、断面管理による出来形管理を行ってもよい。

- ア ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理
- イ ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理
- ウ ＵＡＶ空中写真測量を用いた出来形管理
- エ 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- オ ＵＡＶレーザースキャナーを用いた出来形管理
- カ 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理
- キ ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理
- ク 施工履歴データを用いた出来形管理
- ケ モバイル端末を用いた出来形管理

（３）３次元データの納品

５．（２）により確認された３次元施工管理データを、「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき、工事完成図書として電子納品とする。

- ６．上記５．（１）～（３）の施工を実施するために使用する機器類は、受注者が調達すること。また、

施工に必要な施工データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員との協議するものとする。発注者は、3次元設計データ及びCADデータを受注者に貸与する。

なお、貸与を受けた資料については、工事完成時までに監督職員へ返却しなければならない。

	貸与資料	備 考
1	令和3年度駅館川農地整備事業 平山工区他区画整理設計業務 3次元設計データ 図面のCADデータ	

7. 上記5.(1)～(3)で使用するICT機器に入力した3次元設計データを監督職員に提出すること。

8. 確認及び検査

受注者は、監督職員が行う施工段階確認等や検査職員が行う完成検査等において、施工管理データが組み込まれた出来形管理用TS等光波方式等を準備しなければならない。

9. 情報化施工技術活用工事の費用

- (1) 情報化施工技術活用工事に要する費用については、設計変更の対象とし、「情報化施工技術の活用ガイドライン」により計上することとする。
- (2) 受注者は、発注者から依頼する歩掛や経費等の見積書提出に協力しなければならない。また、発注者の指示により歩掛調査等の調査を実施する場合には協力しなければならない。

10. 本特別仕様書に疑義を生じた場合又は記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第11章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者又は監理技術者の資格は入札説明書によるものとする。

2. 施工管理

(1) 施工管理の追加項目

施工管理基準に定めのない追加の項目とその管理基準等は、次によらなければならない。

- 1) 基盤造成工の盛土法面転圧の施工管理については、土木工事施工管理基準―道路工―路体路床工を準用する。
- 2) 基盤造成工の基盤整地の施工管理については、土木工事施工管理基準―ほ場整備工事―表土整地―基準高を準用するものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第２ 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト (CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- １）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- ２）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- １）受注者は、（１）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- ２）本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第２ 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記１）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）６ 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- ３）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第１２章 天災その他不可抗力

天災その他の不可抗力による損害は、請負契約書第３０条によるものとするが、受注者の善良な管理のもとにおいて、被害が生じた場合のみ、その損害額の負担については、発注者と受注者の協議によ

て定めるものとする。

第 1 3 章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に表示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- (1) 地質、地形
- (2) 転石、湧水等の出現
- (3) 排水量
- (4) 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現
- (5) 関係機関との協議
- (6) 遠隔確認の試行を行う場合
- (7) その他

第 1 4 章 その他

1. 契約後 V E 提案

(1) 定 義

「V E 提案」とは、工事請負契約書第 19 条の 2 の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) V E 提案の意義及び範囲

- 1) V E 提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- 2) ただし、次の提案は、V E 提案の範囲に含めないものとする。
 - ① 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - ② 工事請負契約書第 18 条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案
 - ③ 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) V E 提案書の提出

- 1) 受注者は、(2) の V E 提案を行う場合、次に掲げる事項を V E 提案書（共通仕様書 様式 6－1 ～ 4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ① 設計図書に定める内容と V E 提案の内容の対比及び提案理由
 - ② V E 提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ③ V E 提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - ④ 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - ⑤ 工業所有権を含む V E 提案である場合、その取扱に関する事項

⑥その他V E 提案が採用された場合に留意すべき事項

- 2) 発注者は、提出されたV E 提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- 3) 受注者は、V E 提案を契約締結の日より、当該V E 提案に係る部分の施工に着手する日の 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。
- 4) V E 提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) V E 提案の適否等

- 1) 発注者は、V E 提案の採否について、原則として、V E 提案を受領した日の翌日から 14 日以内に書面（共通仕様書 様式 6－5）により通知するものとする。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。
- 2) また、V E 提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- 3) V E 提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- 4) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 19 条の 2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。
- 5) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- 6) 前項の変更を行う場合においては、V E 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する金額（以下、「V E 管理費」という。）を削減しないものとする。
- 7) V E 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者がV E 提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- 8) 発注者は、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）第 1 項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。V E 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記 6）のV E 管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

(5) V E 提案書の使用

発注者は、V E 提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者がV E 提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、V E 提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこと。

2. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書第 1 編 1-1-37 に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。
受注者は情報化施工技術に係る資料について「情報化施工技術活用ガイドライン」

(<http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/pdf/gg01.pdf>) に基づき、提出しなければならない。

- ・ 工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R 又は BD-R）正副 2 部

3. 配置予定監理技術者等の専任期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、現場に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

また、現場への専任の期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「合格通知書」における日付）とする。

4. ワンデーレスポンス実施に関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。

ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後に協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。

ただし、原則として閉庁日を除く。

5. 部分払について

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、別添「出来高部分払方式実施要領」に基づき行うものとする。

6. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省 WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

（1）工事円滑化会議（施工条件確認会議）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注者幹部に、設計の考え方、発注者工事工程表、施工条件等を説明し、共有を図るものとする。

なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

（2）工事円滑化会議（工程確認会議）

工事着手時および新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、次長、総

括監督員、主任監督員（主催）、監督員が、現場条件、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

（３）設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容等について、確認する設計変更確認会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員と協議し定めるものとする。

（４）対策検討会議

工事实施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに九州農政局地方参事官（議長）・関係課職員、事業所長、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。

なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

（５）建設コンサルタントの出席

上記５．（１）、（２）、（３）及び（４）の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数に関らず契約変更の対象としない。

（６）打合せ記録簿

工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書 様式－４２）に記録し、相互に確認するものとする。

７．現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

（１）内容

受注者は、現場に以下のア～サの仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

ア 洋式（洋風）便器

イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）

ウ 臭い逆流防止機能

エ 容易に開かない施錠機能

オ 照明設備

カ 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等（耐荷重を 5 kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス
- コ 鍵と手洗器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

（２）快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記（１）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

（３）快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本項の対象外とする。

8. 現場環境改善費

（１）現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから 1 内容以上選択し合計 5 つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

（２）以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。

（３）受注者は工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
営繕関係	① 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）

	② 労働宿舍の快適化 ③ デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④ 現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報器等） ③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む） ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表 ⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧パンフレット・工法説明ビデオ ⑨社会貢献

9. 週休2日による施工

（1）本工事は、週休2日に取り組むことを前提として、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。受注者は、契約後、週休2日による施工を行わなければならない。なお、受注者の責によらない現場条件・気象条件等により週休2日相当の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

（2）「週休2日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4週8休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。

なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

1）対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

2）現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。

3）降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

（3）週休2日（4週8休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。

1）受注者は、契約後、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。

2）受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。

3）監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じ

て受注者からの聞き取り等を行う。

4) 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記2)の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。

5) 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。

(4) 監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

(5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正する。

1) 補正係数

	4週8休以上 〔現場閉所率 28.5%(8日/28日)以上〕	4週7休以上 4週8休未満 〔現場閉所率 25%(7日/28日)以上 28.5%未満〕	4週6休以上 4週7休未満 〔現場閉所率 21.4%(6日/28日)以上 25%未満〕
労務費	1.05	1.03	1.01
機械経費（賃料）	1.04	1.03	1.01
共通仮設費（率分）	1.04	1.03	1.02
現場管理費（率分）	1.09	1.07	1.05

2) 補正方法

当初積算において4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。なお、発注者は、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記1)に示す補正係数の表に掲げる現場閉所率に応じた補正係数を用いて補正し、請負代金額を減額変更する。ただし、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られないなどにより、現場閉所の達成状況が4週8休に満たない場合は、補正を行わずに減額変更する。

また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数10点を減ずるものとする。

10. 週休2日制の促進

(1) 本工事は、週休2日制を促進するため、現場閉所状況に応じて工事成績要領に基づく工事成績評定において加点評価を行うとともに、週休2日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。

(2) 発注者は、現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）と確認した場合は、工事成績評定において加点評価するものとする。ただし、工事成績評定の合計は100点を超えないものとする。また、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、工事成績評定の点数を10点減ずることとする。なお、加点評価に当たっては、以下のとおりとする。

る。

- 1) 他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙5に示す「4. 創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大2点を加點評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて1点、2点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- ☐ 週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
☐ 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

- 2) 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙3-1に示す「2. 施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の2つの評価項目を追加し、両方で加點評価する。ただし、週休2日に満たない（休日率4週6休以上）場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- ☐ 休日の確保を行った。
☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行った。〕

○事業（務）所長用

- ☐ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。〕

- 3) 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成したことに加え、対象期間内の全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙8に示す「7. 法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で1点を加點評価する。

○事業（務）所長用

- ☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行ったとともに全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。〕

- (3) 監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が4週6休以上（現場閉所率 21.4%（6日/28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

11. 総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）について

- (1) 本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）の対象工事である。
(2) 受発注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

12. 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

- (2) 発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった後、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、発注者が別に示す実績変更対象経費に係る費用の内訳を記載した実績変更対象経費に関する実施計画書（以下「計画書」という。）（様式2）を作成し、監督職員に提出するものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書（以下「変更計画書」という。）（様式3）を作成するとともに、変更計画書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事積算基準に基づき算出した額」から「計画書に記載された共通仮設費（率分）と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

13. 共通仮設费率分の適切な設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

運搬費：建設機械の運搬費
準備費：抜開・除根・除草費
- (2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）（様式4）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」から「算定基準に基づき算出した額」を差し引いて算出した金額を設計変更の対象とする。

- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

14. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。
- (2) 用語の具体的な内容は次のとおりである。

ア 真夏日

日最高気温が30℃以上の日をいう。

イ 工期

準備・後片付け期間を含めた工期をいう。なお、年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の3日間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

ウ 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$$

- (3) 受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督職員へ提出する。
- (4) 気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
- なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上となる日を真夏日と見なす。
- ただし、これによりがたい場合は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所以外の気象観測所で気象業務法(昭和27年法律第165号)に基づいた気象観測方法により得られた計測結果を用いることも可とする。
- (5) 受注者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。
- (6) 発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工期中の日最高気温から真夏日率を算定した上で補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

$$\text{補正値}(\%) = \text{真夏日率} \times \text{補正係数}^{\ast}$$

※ 補正係数：1.2

15. 1日未満で完了する作業の積算

- (1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算(以下、「1日未満積算基準」という。)は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な

る根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

- （５）災害復旧工事等で人工精算する場合や、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

16. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等

- （１）工事で使用する資材等の納期への影響に対する対応について

受注者は、新型コロナウイルス感染症に伴い、工事で使用する資材、機材及び機器類の納期に影響が生じ、工期内に工事が完成できないと判断される場合は、監督職員と協議するものとする。

- （２）感染拡大防止対策にかかる費用の計上

受注者は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために次のような対策を実施する場合は、監督職員と協議するものとし、必要と認められた対策については、施工計画書に記載して確実に実施しなければならない。

- １）現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入又はリース費用
- ２）現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入又はリース費用
- ３）遠隔確認やテレビ会議等のための機材及び通信費
- ４）その他、感染拡大防止のために必要と認められる費用

17. 建設副産物の取扱いに係る補足

共通仕様書 1-1-2 建設副産物の記載について、以下のとおり補足する。

- （１）受領書の交付

受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

- （２）再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等

受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土砂の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壤汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見えやすい場所に掲げなければならない。

- （３）建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、再生資源利用促進計画に記載した事項（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と（２）再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等で行った確認結果を委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

- （４）建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提

出しなければならない。

第 15 章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 期 通 知 書

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官
九州農政局駅館川農地整備事業所長
〇〇 〇〇 殿

住所
商号又は名称
氏名

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	令和5年度駅館川農地整備事業 平山工区区画整理（その2）工事
工 事 場 所	大分県宇佐市安心院町平山地内
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工事の始期 から （ 日間） 令和 年 月 日 まで

※契約の締結までに提出すること。
※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

実績変更対象経費に関する実施計画書

費目		費用	内容	計上額
共通仮設費	営繕費	借上費	現場事務所、試験室、労働者宿舍、倉庫、材料保管場所等の敷地借上げに要する地代及びこれらの建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げする場合に要する費用	
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊する場合に要する費用	
		労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送（水上輸送を含む）をするために要する費用（運転手賃金、車両損料、燃料費等含む）	
	小　　計			
現場管理費	労務管理費	募集及び解散に要する費用	労働者の赴任手当、労働者の帰省旅費、労働者の帰省手当	
		賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給	
	小　　計			
合　　計				

実績変更対象経費に関する変更実施計画書

費目		費用	内容	計上額 (当初)	計上額 (変更)	差額
共通仮 設費	営繕費	借上費	現場事務所、試験室、労働者宿舍、 倉庫、材料保管場所等の敷地借上げ に要する地代及びこれらの建物を建 築する代わりに貸しビル、マンショ ン、民家等を長期借上げする場合に 要する費用			
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊す る場合に要する費用			
		労働者 送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該 現場に送迎輸送（水上輸送を含む） をするために要する費用（運転手賃 金、車両損料、燃料費等含む）			
	小　　計					
現場管 理費	労務管 理費	募集及び 解散に要 する費用	労働者の赴任手当、労働者の帰省旅 費、労働者の帰省手当			
		賃金以外 の食事、 通勤等に 要する費 用	労働者の食事補助、交通費の支給			
	小　　計					
合　　計						

実績変更対象経費に関する内訳書

費目		費用	内容	計上額
共通仮設費	運搬費	建設機械の運搬費	建設機械の運搬等に要する費用	
	準備費	伐開・除根・除草費	準備作業に伴う伐開、除根、除草作業に要する費用	
合 計				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 基盤工				「概」と表示しているものは概数数量発注による数量
(1) 造成土工				
基盤造成	土砂 BD掘削押土 (60mまで)	m ³	24,900	「概」
基盤造成	土砂 BH掘削【ICT】＋不整地運搬 (60m超え80m以下)	m ³	2,630	「概」
基盤造成	土砂 BH掘削＋不整地運搬 (60m超え80m以下)	m ³	2,630	「概」
基盤造成	土砂 BH掘削【ICT】＋不整地運搬 (80m超え180m以下)	m ³	5,000	「概」
基盤造成	土砂 BH掘削＋不整地運搬 (80m超え180m以下)	m ³	5,000	「概」
盛土法面転圧	粘性土【ICT】	m ³	11,800	「概」
基盤整地 (畑地部)	粘性土、2回掛け	ha	1.39	「概」
(2) 整形仕上げ工				
法面整形 (切土部)	粘性土【ICT】	m ²	13,330	「概」
法面整形 (盛土部)	粘性土【ICT】	m ²	5,330	「概」
2. 構造物撤去工				
(1) 既設管撤去工	硬質ポリ塩化ビニル管			
既設管撤去	硬質ポリ塩化ビニル管 φ50以下	m	1,670	「概」
既設管運搬	廃プラスチック類	台	1	「概」
既設管処理	廃プラスチック類	ton	0.8	「概」
3. 道路工				
(1) 支線道路B	As舗装部			
下層路盤	再生クラッシャラン (RC-40) t=14cm	m ²	1,370	「概」
(2) 耕作道路	As舗装部			
下層路盤	再生クラッシャラン (RC-40) t=14cm	m ²	150	「概」
(3) 進入路工				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
ほ場進入路	進入路4、L=1.5m(上り)	箇所	1	「概」
ほ場進入路	進入路5、L=1.5m(上り)	箇所	1	「概」
ほ場進入路	進入路6、L=1.5m(下り)	箇所	1	「概」
ほ場進入路	進入路7、L=1.5m(下り)	箇所	1	「概」
4. 排水路工	S-13			
(1)排水路工				
排水路(畑地部)	BF-400	m	53.2	「概」
排水路(道路部)	BF-400	m	35.6	「概」
急流工	BF-400	m	23.2	「概」
跳水防止板	400用 L=1,000mm(GRC製)	枚	8	「概」
集水柵	畑地部 800型	箇所	2	「概」
集水柵蓋 (コンクリート蓋)	800型	枚	2	「概」
承水路工	B=300	m	510.0	「概」
5. 防災施設工				
(1)沈砂池工	ほ場内			
掘削	土砂	m ³	69	「概」
法面整形		m ²	37	「概」
基面整正		m ²	90	「概」
(2)土砂流出防止工				
柵工	H=0.5m	m	290	「概」
6. その他				
(1)運搬費				
共通仮設(積上げ)				
運搬費				
重建設機械分解・組立・輸送	ブルドーザ 普通21t級	式	1	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
重建設機械分解・組立・輸送	ブルドーザ 湿地20t級以上21t級以下	式	1	
(2)準備費				
共通仮設（積上げ）				
準備費				
抜根		ha	0.92	
排根		ha	0.92	
(3)技術管理費				
共通仮設（積上げ）				
技術管理費				
変状土CBR試験	設計CBR 2 モーロード	箇所	4	
保守点検費(ICT)	掘削【ICT】[ハックホリ]	式	1	
保守点検費(ICT)	法面整形【ICT】(切土部)[ハックホリ]	式	1	
保守点検費(ICT)	法面整形【ICT】(盛土部)[ハックホリ]	式	1	
保守点検費(ICT)	路体(築堤)盛土【ICT】[ブルドーザ]	式	1	
システム初期費(ICT)	掘削【ICT】、法面整形【ICT】[ハックホリ]	式	1	
システム初期費(ICT)	路体(築堤)盛土【ICT】[ブルドーザ]	式	1	

令和5年度 駅館川農地整備事業 平山工区区画整理(その2)工事 図 面 目 録

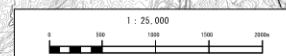
契 約 図		
図面番号	図 面 名 称	図面枚数
1	位 置 図	1 枚
2	現 況 計 画 平 面 図	1 枚
3	農 地 計 画 平 面 図	1 枚
4	抜 排 根 計 画 図	1 枚
5	既 設 管 撤 去 図	1 枚
6	造 成 工 標 準 図	1 枚
7	道 路 工 計 画 平 面 図	1 枚
8	道 路 工 標 準 図	1 枚
9	排 水 路 工 計 画 平 面 図	1 枚
10	排 水 路 工 標 準 図	2 枚
11	防 災 施 設 工 計 画 図	1 枚
合計		12 枚

位 置 図



宇佐市

施工場所
平山工区



工 事 名	令和5年度 駅前川農地整備事業 平山工区區画整理（その2）工事		
図 面 名	位 置 図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:25,000	図面番号	1
会 社 名			
事業所名	九州農政局 駅前川農地整備事業所		

現況計画平面図

S=1:1,000

凡例

名称	区分	備考
畑地部	■ (面積 (m ²))	
沈砂池	■	
切土法面 (1:1.0)	■	
盛土法面 (1:1.5)	■	
混合法面 (1:1.5)	■	
地区境界	---	

2級基準点
NO.103 (H:184.618m)

Y=29.8

Y=29.6

2級基準点
NO.104 (H:193.695m)

Y=30.0

Y=30.0

1工区
(今回施工対象外)

3工区

Y=29.6

基準点座標一覧表

測点	X	Y	H
2級 NO.103	43638.868	29821.772	184.618
2級 NO.104	43433.908	29997.939	193.695
2級 NO.105	43396.732	29431.426	162.313
2級 NO.106	43173.634	29714.394	221.686
2級 NO.107	42816.399	29975.283	231.392

工事名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理 (その2) 工事		
図面名	現況計画平面図		
作成年月日			
縮尺	S=1:1,000	図面番号	2
会社名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

農地計画平面図

S=1:1,000

凡 例

名 称	区 分	備 考
畑 地 部	 田埂番号 面積 (m ²)	
沈 砂 池		
切土法面 (1:1.0)		
盛土法面 (1:1.5)		
混合法面 (1:1.5)		
地区境界		

2級基準点
NO.103 (H:184.618m)

Y=29.8

Y=29.6

2級基準点
NO.104 (H:193.695m)

Y=30.0

Y=29.4

1工区
(今回施工対象外)

3工区

Y=29.6

基準点座標一覧表

測点	X	Y	H
2級 NO.103	43638.868	29821.772	184.618
2級 NO.104	43433.908	29997.939	193.695
2級 NO.105	43396.732	29431.426	162.313
2級 NO.106	43173.634	29714.394	221.686
2級 NO.107	42816.399	29975.283	231.392

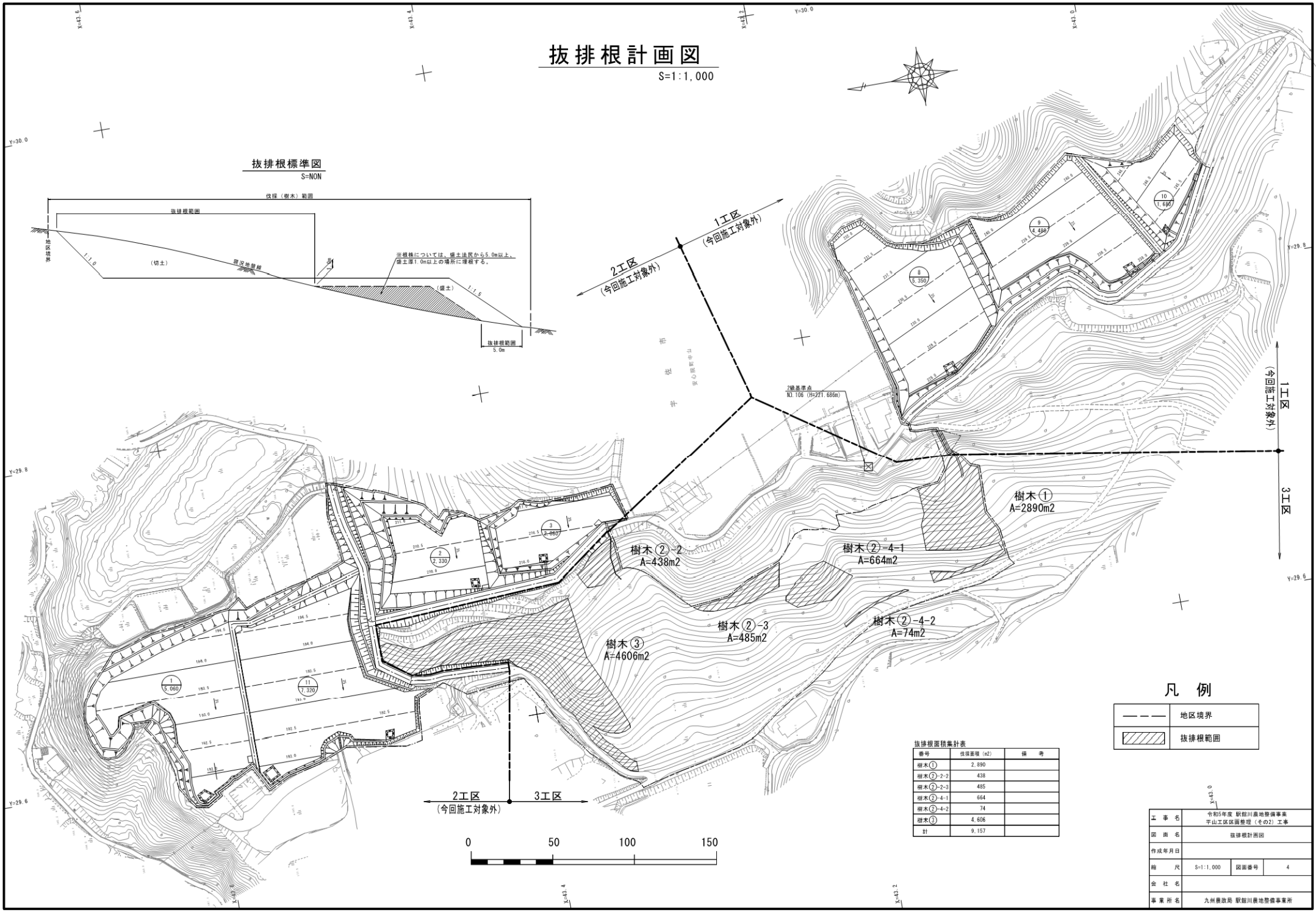
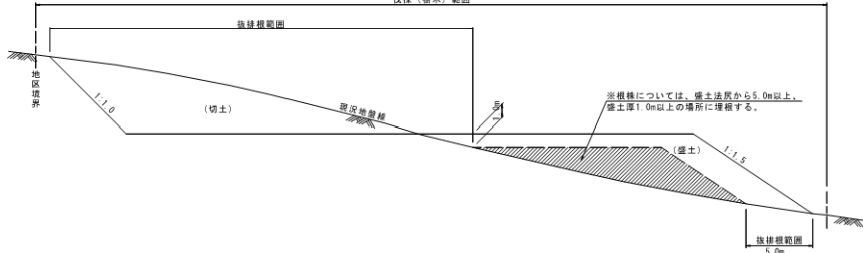
工 事 名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理 (その2) 工事		
図 面 名	農地計画平面図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	3
会 社 名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

抜根計画図

S=1:1,000

抜根標準図 S=NON

抜根（樹木）範囲



凡 例

---	地区境界
▨	抜根範囲

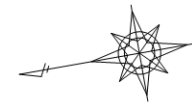
抜根面積集計表

番号	伐採面積 (m²)	備 考
樹木①	2,890	
樹木②-2	438	
樹木②-3	485	
樹木②-4-1	664	
樹木②-4-2	74	
樹木③	4,606	
計	9,157	

工 事 名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理（その2）工事		
図 面 名	抜根計画図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	4
会 社 名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

既設管撤去図

S=1:1,000



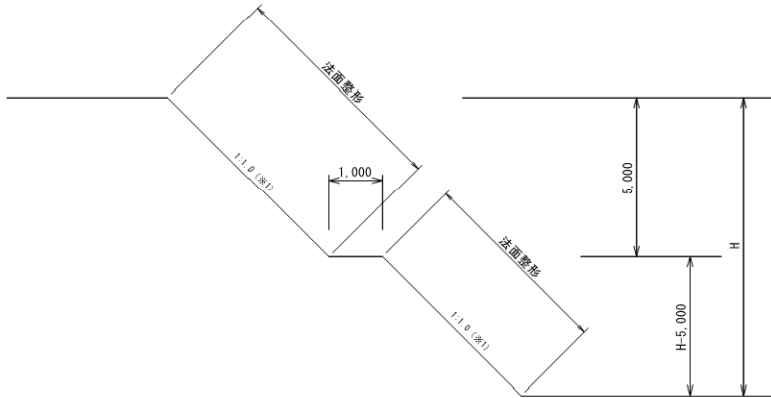
凡 例	
	既設管路 (撤去)
	既設管路 (存置)

工 事 名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区區画整理 (その2) 工事		
図 面 名	既設管撤去図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	5
会 社 名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

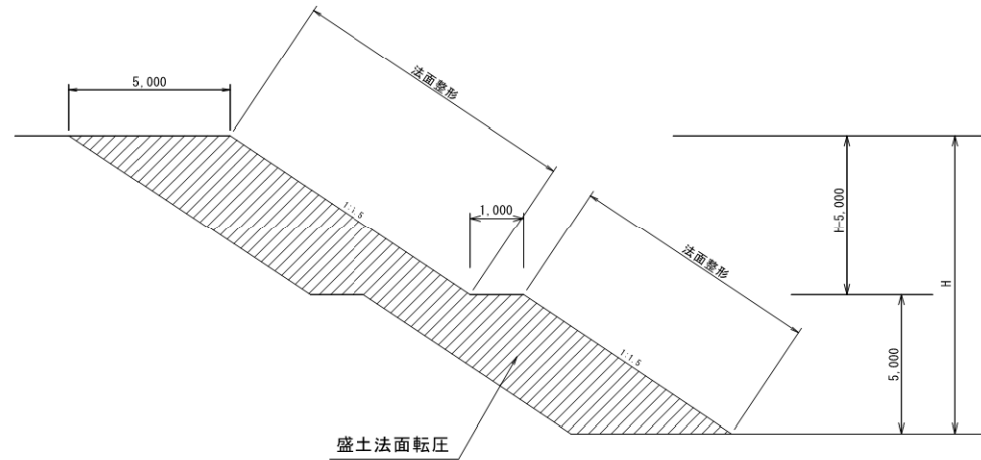
造成工 標準図

NO SCALE

切土法面



盛土法面

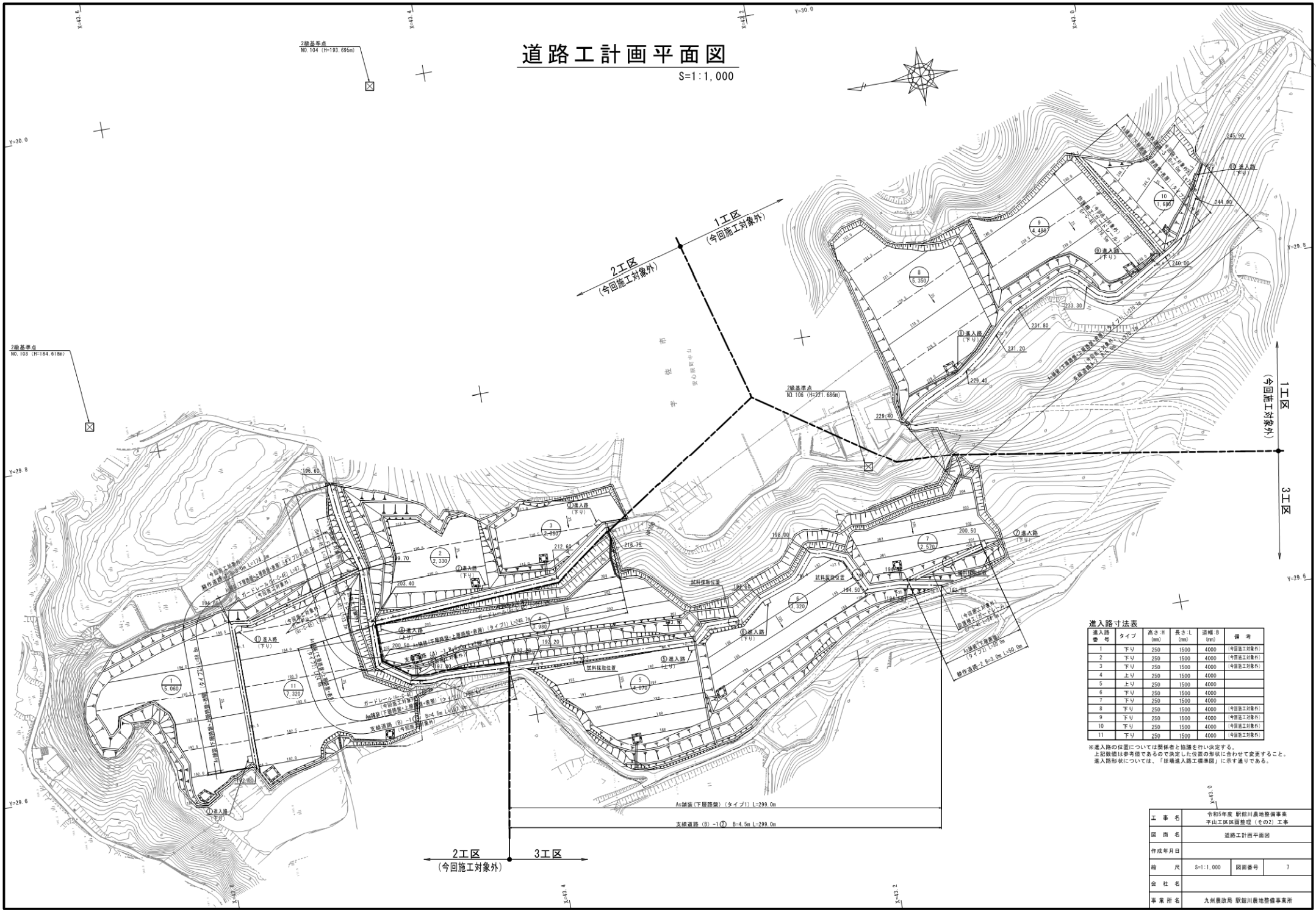


※ 盛土・切土が混在する法面は、盛土法面勾配を採用する。

工事名	令和5年度 京都川流域整備事業 平山工区区画整理（その2）工事		
図面名	造成工 標準図		
作成年月日			
縮尺	NO SCALE	図面番号	6
会社名			
事業名	九州農政局 京都川流域整備事業所		

道路工計画平面図

S=1:1,000



進入路寸法表

進入路番号	タイプ	高さH (mm)	長さL (mm)	幅員B (mm)	備考
1	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
2	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
3	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
4	上り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
5	上り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
6	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
7	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
8	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
9	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
10	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)
11	下り	250	1500	4000	(今回施工対象外)

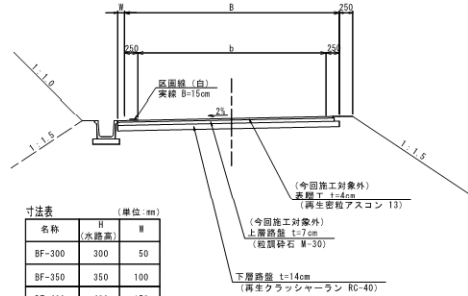
※進入路の位置については関係者と協議を行い決定する。
上記数値は参考値であるので決定した位置の形状に合わせて変更すること。
進入路形状については、「ほろろ進入路工事標準図」に示す通りである。

工事名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理 (その2) 工事		
図面名	道路工計画平面図		
作成年月日			
縮尺	S=1:1,000	図面番号	7
会社名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

道路工標準図

標準断面図 (タイプ1)

S=1:50

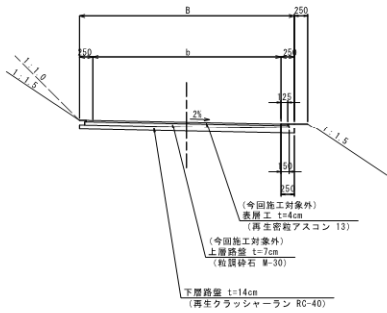


名称	H (水路高)	W
BF-300	300	50
BF-350	350	100
BF-400	400	150
BF-450	450	200
BF-500	500	250
BF-600	600	300

※ただし、Wは水路線の最大幅に合わせるものとする。

標準断面図 (タイプ2)

S=1:50

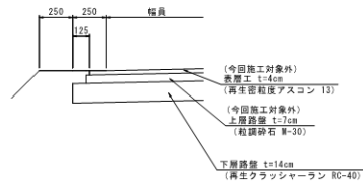


※・道路横断勾配は、前後の法面状況や区間延長が短いなど状況によっては片勾配とする。
・舗装構成は、下図の通りである。

舗装構成図

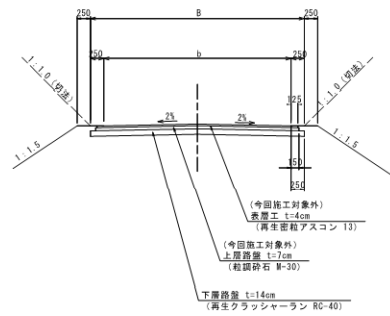
S=1:20

As舗装断面図



標準断面図 (タイプ3)

S=1:50



道路寸法表

(mm)

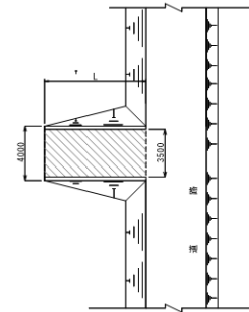
道路名	全幅(B)	幅員(b)	備考
支線道路A	5,000	4,500	
支線道路B	4,500	4,000	
幹線道路	3,000	2,500	

ほ場進入路工標準図

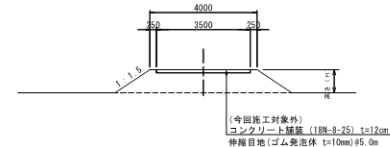
S=1:200

標準型進入路
(下り進入路)

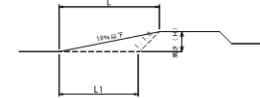
平面図



横断面図

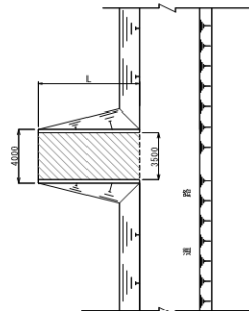


縦断面図

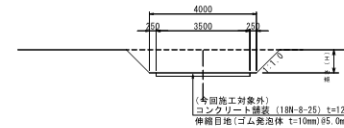


標準型進入路
(上り進入路)

平面図



横断面図

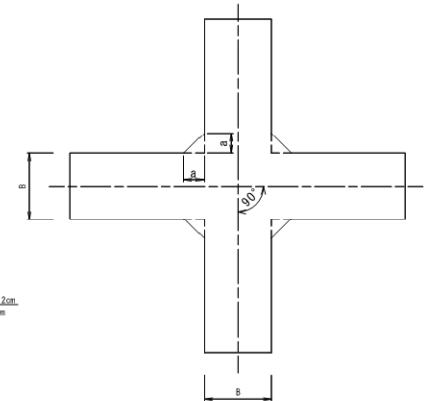


縦断面図



※各ほ場別進入路の高さ(B)、延長(L)及びタイプについては、「道路工計画平面図」に表記している。

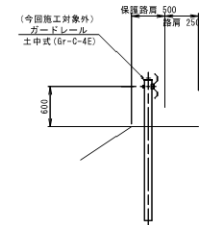
隅切



隅切の一辺の長さ: a (mm)

交差する道路の 車道有効幅員 (m)	B=3.0m	B=4.5m	B=5.0m
幹線道路 (B=3.0m)	2,000	1,500	1,000
支線道路B (B=4.5m)	1,500	1,000	500
支線道路A (B=5.0m)	1,000	500	0

安全施設工



※保護路肩は全幅員(B)の外数である
支柱打込み位置は保護路肩の中心とする。

工事名	令和5年度 駅前川農地整備事業 平山工区区画整理 (その2) 工事		
図面名	道路工標準図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	8
会社名			
事業所名	九州農政局 駅前川農地整備事業所		

排水路工計画平面図

S=1:1,000

凡 例

名 称	区 分	備 考
畑 地 部		
沈 砂 池		
切土法面(1:1.0)		
盛土法面(1:1.5)		
混合法面(1:1.5)		
地区境界		

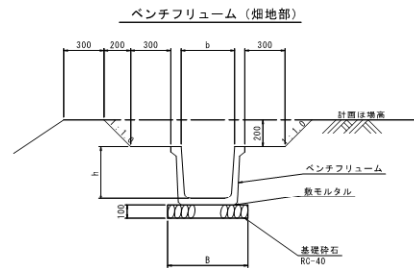
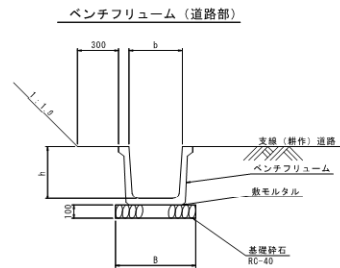


工 事 名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理 (その2) 工事		
図 面 名	排水路工計画平面図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	9
社 会 名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

排水路工標準図（1）

排水路標準断面図

S=NON

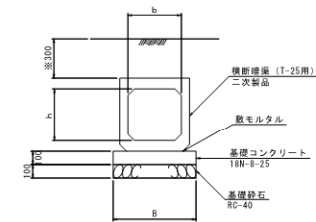


ベンチフリューム寸法表 (単位: mm)

名称	b	h	B
BF-300	300	300	500
BF-350	350	350	550
BF-400	400	400	600
BF-450	450	450	650
BF-500	500	500	700
BF-600	600	600	800

横断暗渠断面図

(今回施工対象外)



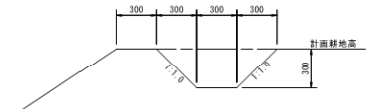
※ 標準値を示すが、現地状況より低減してよい。

横断暗渠寸法表 (単位: mm)

名称	b	h	B	備考
300型	300	300	500	
350型	350	350	550	
400型	400	400	600	
450型	450	450	650	
500型	500	500	700	
600型	600	600	800	

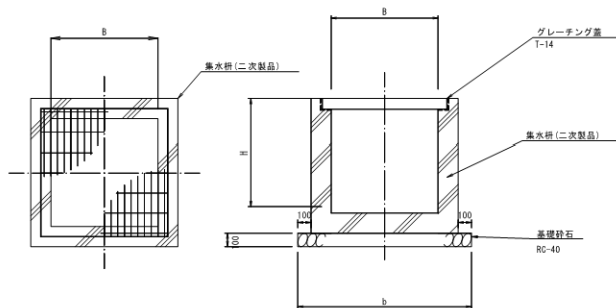
承水路標準断面図

S=1:20

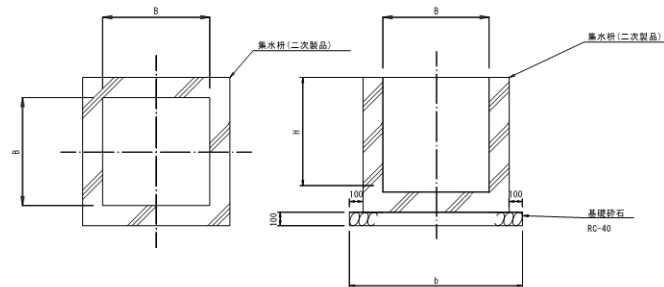


集水枘工(二次製品)

(今回施工対象外)
集水枘工 (道路部)
(二次製品)



集水枘工 (畑地部)
(二次製品)



集水枘 (二次製品) 寸法表 単位: mm

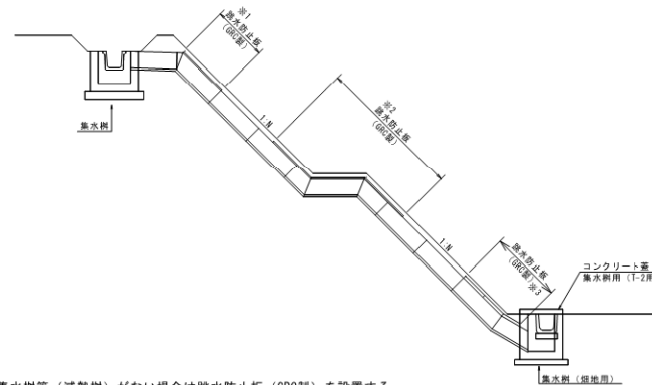
規格	B	H	b	備考
600×600×600	600	600	900	
700×700×700	700	700	1000	
800×800×800	800	800	1100	
900×900×900	900	900	1200	
1000×1000×1000	1000	1000	1300	

※1 一般的な条件での設定であるため条件が異なる場合は現場条件に応じ寸法等を変更するものとする。

工事名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理 (その2) 工事		
図面名	排水路工標準図 (1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	10-1/2
会社名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

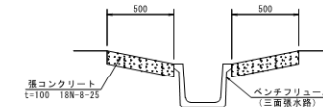
排水路工標準図(2)

急流工一般図



急流工断面図

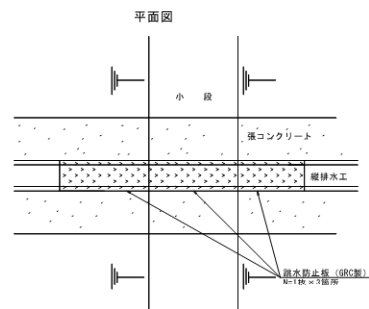
S=1:20



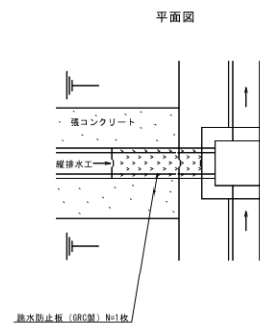
急流工構造図

S=1:30

小段部詳細図

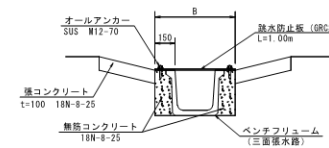


下流部詳細図



跳水防止板部断面図

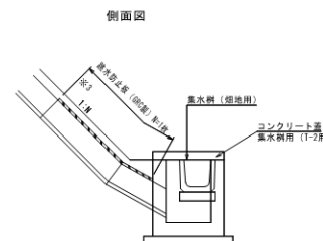
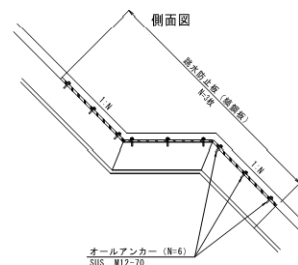
(縦板部) S=1:20



跳水防止板 (GRC製) 寸法表

水路規格	跳水防止板幅 (B)	跳水防止板厚 (t)
BF-300	600	10
BF-350	650	13
BF-400	700	13
BF-450	750	20

※跳水防止板 (GRC製) を設置する位置については、水路の大きさや勾配を考慮して跳水状況に合わせ設置すること。



工 事 名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理 (その2) 工事		
図 面 名	排水路工標準図 (2)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	10 - 2 / 2
会 社 名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

土砂流出防止対策工

ネット柵工標準図

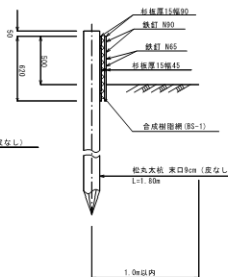
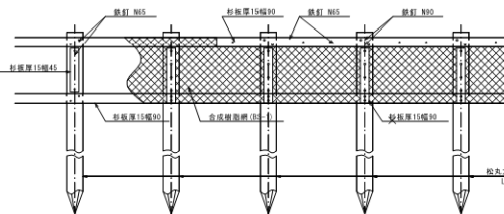
S=NON

防災施設工計画図

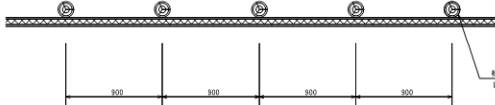
S=1:1,000

正面図

断面図

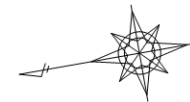


平面図



1区
(今回施工対象外)

2区
(今回施工対象外)



1区
(今回施工対象外)

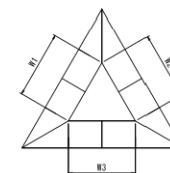
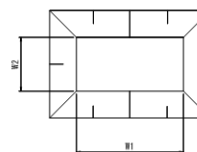
3区

ほ場内沈砂池構造図

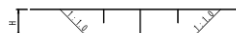
平面図

(タイプ1)

(タイプ2)



断面図



ほ場内沈砂池寸法表

ほ場内沈砂池	型式	W1	W2	W3	H	備考
④	タイプ1	3000	3000		1000	
⑤	タイプ1	3500	3500		1000	
⑥	タイプ1	3000	3000		1000	
⑦	タイプ1	2500	2500		1000	

工事名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理（その2）工事		
図面名	防災施設工計画図		
作成年月日			
縮尺	S=1:1,000	図面番号	11
会社名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		

令和5年度 駅館川農地整備事業 平山工区区画整理(その2)工事 図 面 目 録

参 考 図		
図面番号	図 面 名 称	図面枚数
参 1	運 土 計 画 図	1 枚
参 2	造 成 工 標 準 断 面 図	1 枚
合計		2 枚

運土計画図

S=1:1,000

基準点座標一覧表

測点	X	Y	H
2級 NO.103	43638.868	29821.772	184.618
2級 NO.104	43433.908	29997.939	193.695
2級 NO.105	43396.732	29431.426	162.313
2級 NO.106	43173.634	29714.394	221.686
2級 NO.107	42816.399	29975.283	231.392

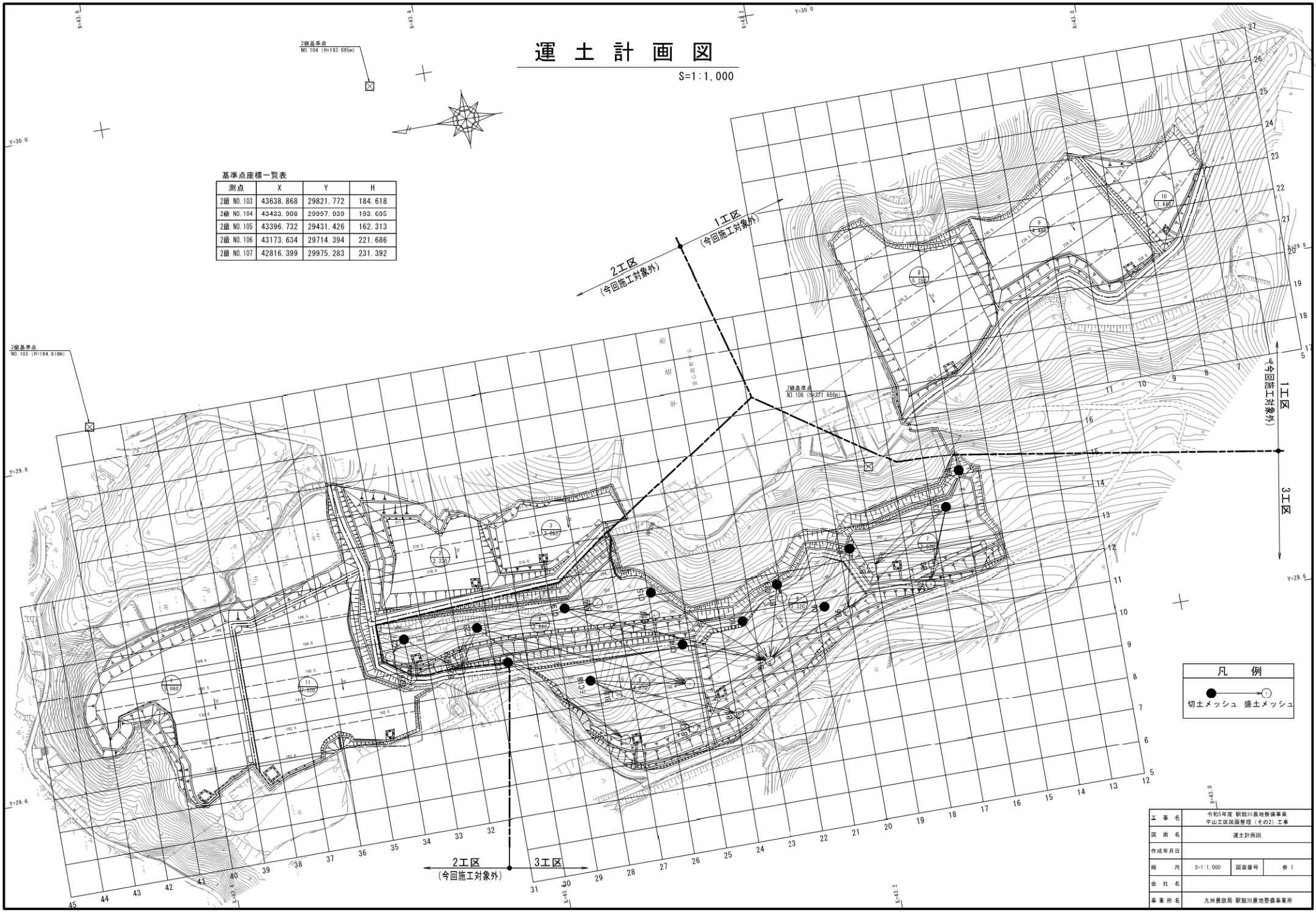
2級基準点
NO.104 (H=193.695m)

2級基準点
NO.103 (H=184.618m)

2級基準点
NO.106 (H=221.686m)

凡 例	
●	切土メッシュ
○	盛土メッシュ

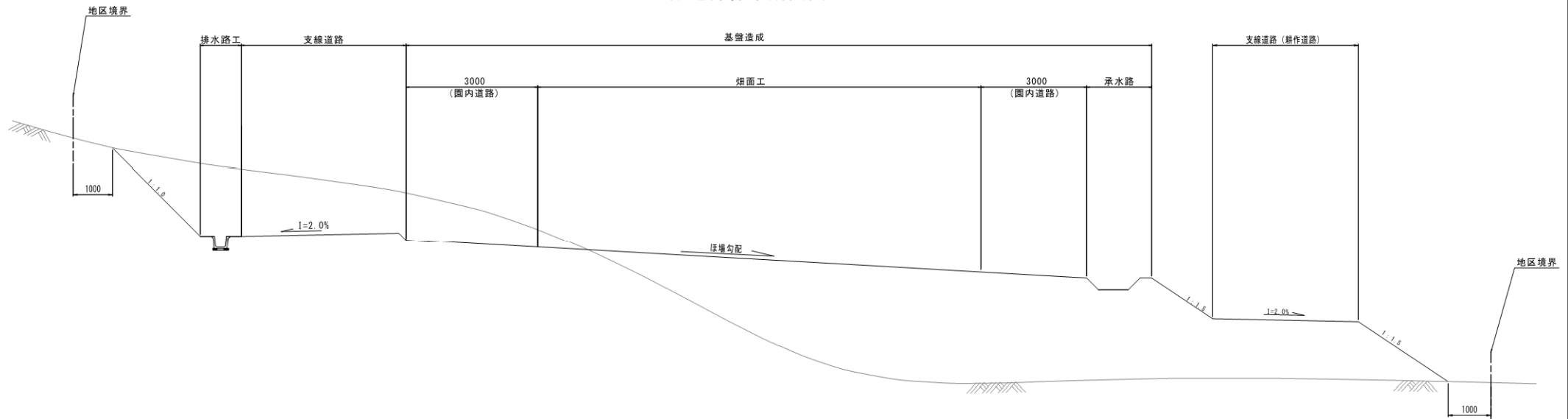
工 事 名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理（その2）工事		
図 面 名	運土計画図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	参 1
会 社 名			
事業所名	九州農政局 野田川農地整備事業所		



造成工標準断面図

S=1 : 50

畑地部標準断面図



工 事 名	令和5年度 野田川農地整備事業 平山工区区画整理（その2）工事		
図 面 名	造成工標準断面図		
作成年月日			
縮 尺	S=1 : 50	図面番号	参 2
会 社 名			
事 業 所 名	九州農政局 野田川農地整備事業所		